Ⅳ　調査結果

Ⅳ　調査結果

1　社会における制度・慣行について

1. 静岡県における男女共同参画の機会の確保

問１　本県において、男女が性別にかかわりなく、その個性と能力を十分に発揮することができる機会が確保されていると思いますか。（１つに○）

男女共同参画の機会が確保されていると『思う』人は37.5%。

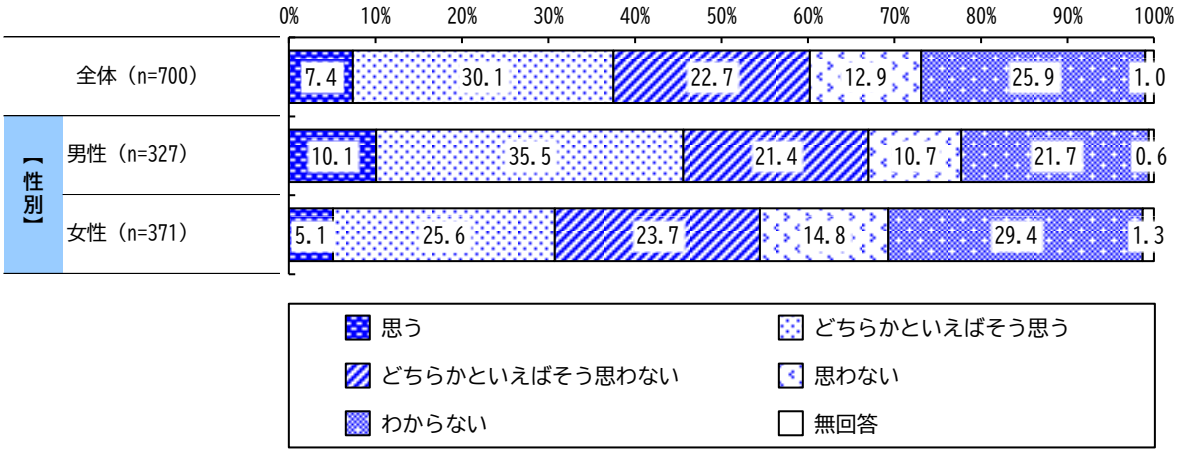
本県において、男女が性別にかかわりなく、その個性と能力を十分に発揮することができる機会が確保されていると思うかたずねたところ、『思う』（「思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が37.5%、『思わない』（「思わない」＋「どちらかといえばそう思わない」）35.6%と、『思う』がやや上回っています。

性別でみると、『思う』は男性が45.6%、女性が30.7%、『思わない』は男性が32.1%、女性が38.5%と男女間で差がみられます。

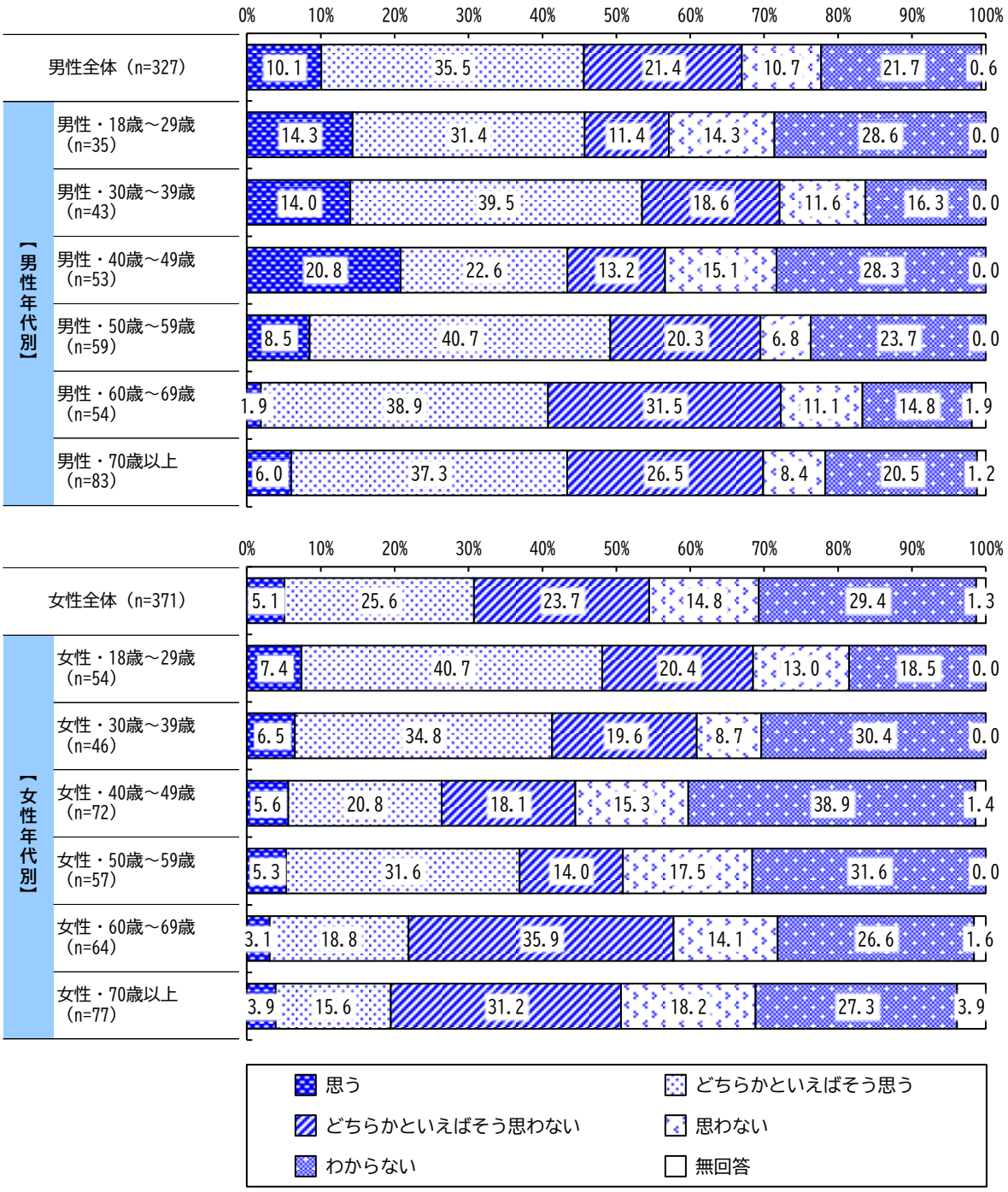
性・年代別でみると、男性は30歳～39歳で『思う』が53.5%、60歳～69歳で『思わない』が42.6%とそれぞれ他の年代より高くなっています。女性は18歳～29歳で『思う』の割合が48.1%と高く、60歳～69歳、70歳以上では『思わない』が約半数を占め他の年代より高くなっています。

経年比較でみると、令和元年以降『思う』が少しずつ高く、『思わない』が少しずつ低くなり、令和８年度に『思わない』を逆転しています。

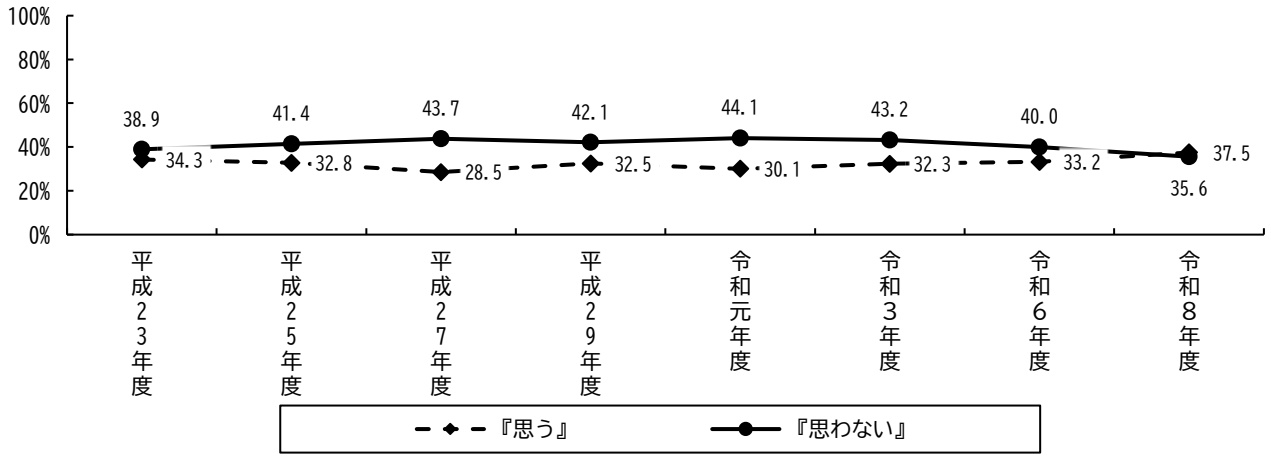
【全体・性別】



【性・年代別】


0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
男性全体（n=327）
10.1
35.5
21.4
10.7
21.7
0.6
【男性年代別】
男性・18歳～29歳（n=35）
14.3
31.4
11.4
14.3
28.6
0.0
男性・30歳～39歳（n=43）
14.0
39.5
18.6
11.6
16.3
0.0
男性・40歳～49歳（n=53）
20.8
22.6
13.2
15.1
28.3
0.0
男性・50歳～59歳（n=59）
8.5
40.7
20.3
6.8
23.7
0.0
男性・60歳～69歳（n=54）
1.9
38.9
31.5
11.1
14.8
1.9
男性・70歳以上（n=83）
6.0
37.3
26.5
8.4
20.5
1.2
女性全体（n=371）
5.1
25.6
23.7
14.8
29.4
1.3
【女性年代別】
女性・18歳～29歳（n=54）
7.4
40.7
20.4
13.0
18.5
0.0
女性・30歳～39歳（n=46）
6.5
34.8
19.6
8.7
30.4
0.0
女性・40歳～49歳（n=72）
5.6
20.8
18.1
15.3
38.9
1.4
女性・50歳～59歳（n=57）
5.3
31.6
14.0
17.5
31.6
0.0
女性・60歳～69歳（n=64）
3.1
18.8
35.9
14.1
26.6
1.6
女性・70歳以上（n=77）
3.9
15.6
31.2
18.2
27.3
3.9
思う
どちらかといえばそう思う
どちらかといえばそう思わない
思わない
わからない
無回答

【経年比較】



※無回答などを省略していますので、合計しても100%にならないことがあります。
※『思う』（「思う」＋「どちらかといえばそう思う」）、『思わない』（「思わない」＋「どちらかといえばそう思わない」）

	調査数	思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	思わない	わからない	無回答
平成23年度	577	8.1%	26.2%	26.9%	12.0%	25.3%	1.6%
平成25年度	793	6.9%	25.9%	27.2%	14.2%	23.7%	2.0%
平成27年度	899	7.7%	20.8%	29.5%	14.2%	26.9%	0.9%
平成29年度	782	5.4%	27.1%	28.5%	13.6%	25.3%	0.1%
令和元年度	744	4.6%	25.5%	28.1%	16.0%	25.3%	0.5%
令和３年度	826	6.3%	26.0%	30.4%	12.8%	24.0%	0.5%
令和６年度	732	5.2%	28.0%	26.9%	13.1%	26.5%	0.3%
令和８年度	700	7.4%	30.1%	22.7%	12.9%	25.9%	1.0%

２. 社会全体における男女平等感

問２　あなたは、社会全体で見た場合、男女は平等になっていると思いますか。（１つに○）

社会全体において『男性優遇』と感じている人は62.3%。

社会全体で見た場合、男女は平等になっていると思うかたずねたところ、『男性優遇』（「男性が非常に優遇されている」＋「どちらかといえば男性が優遇されている」）が62.3%、「平等」が11.9%、『女性優遇』（「どちらかといえば女性が優遇されている」＋「女性が非常に優遇されている」）が11.9%となっています。

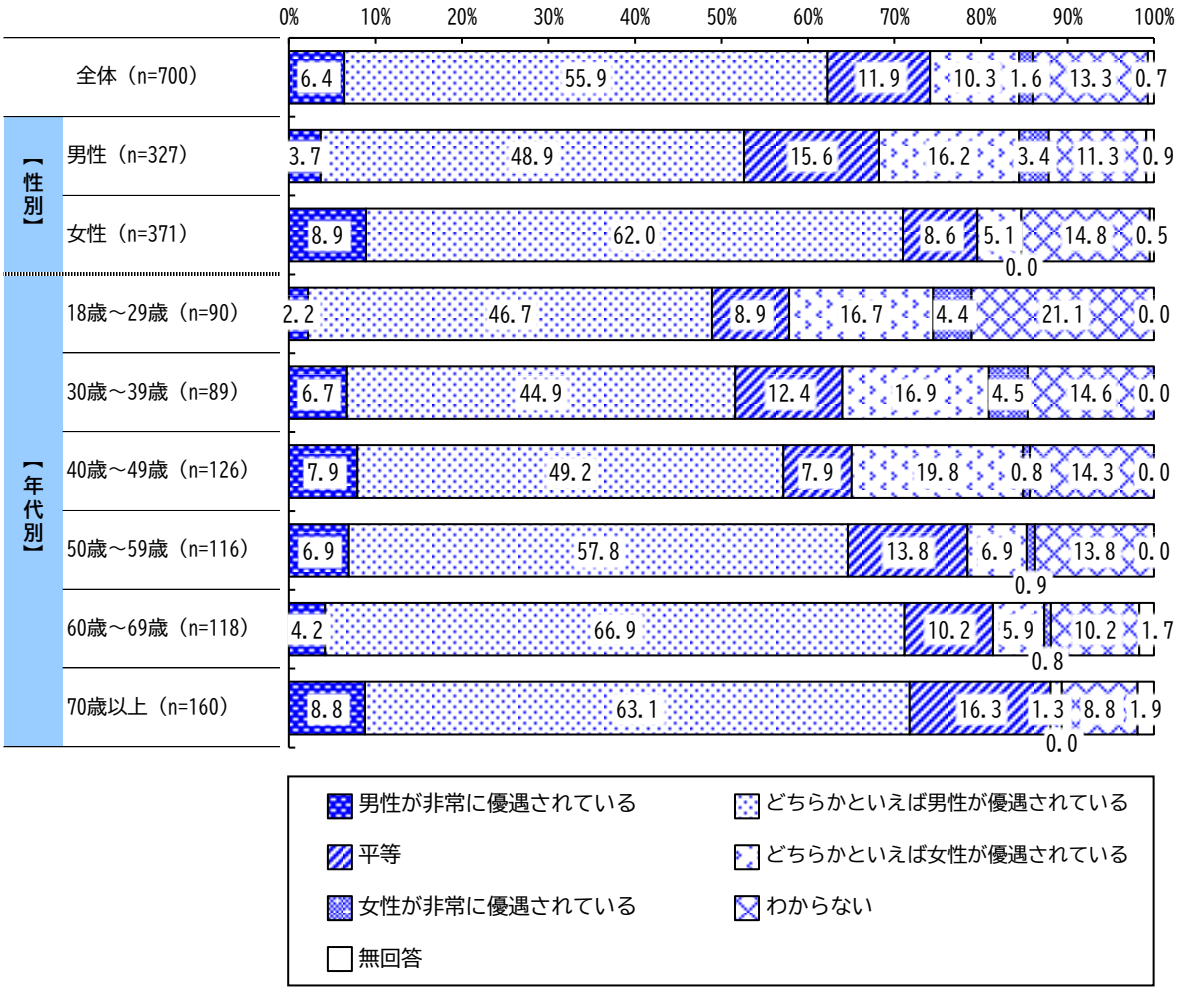
性別でみると、『男性優遇』は男性が52.6%、女性が70.9%と男女間で差がみられます。

年代別でみると、60歳～69歳、70歳以上で『男性優遇』が７割以上となっており、他の年代より高くなっています。

属性別得点をみると、性・年代別で男性と女性の差は、30歳～39歳で0.94ポイント、18歳～29歳で0.77ポイントと比較的大きな差がみられました。

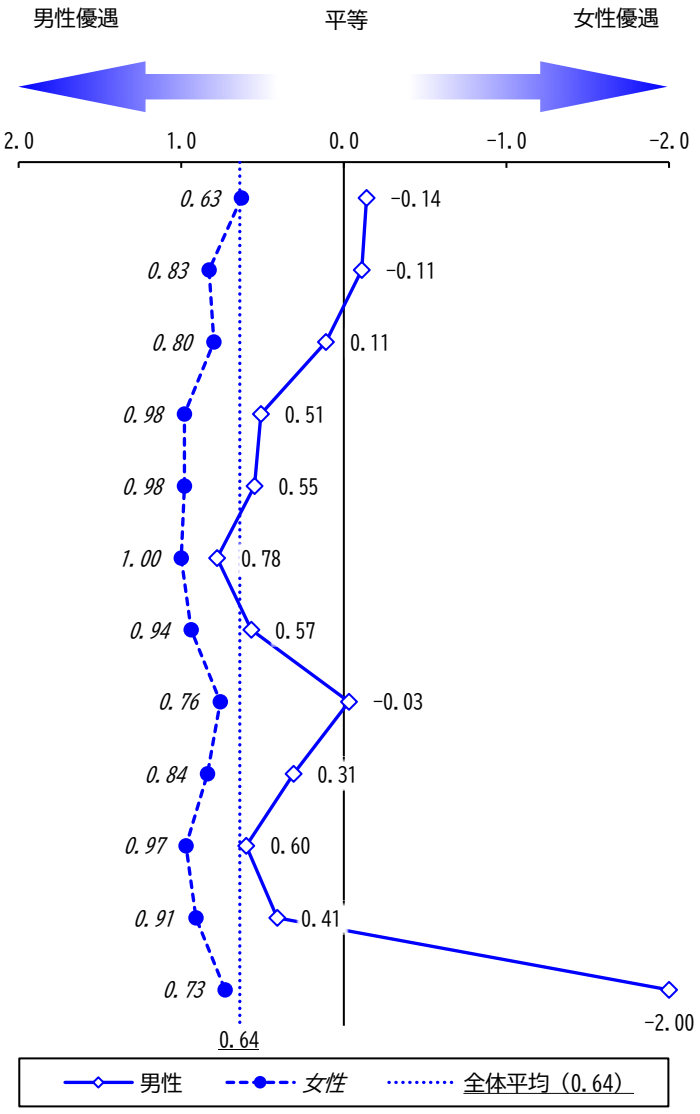
経年比較でみると、『男性優遇』の割合が減少傾向にあります。

【全体・性別・年代別】



【属性別得点】

		（ｎ） 男性	女性
		327	371
【年代別】	18歳～29歳	35	54
	30歳～39歳	43	46
	40歳～49歳	53	72
	50歳～59歳	59	57
	60歳～69歳	54	64
	70歳以上	83	77
【子ども】	子どもがいる	210	245
	子どもはいない	113	126
【職業】	社員・職員（正規・非正規）、自営業、役員	250	243
	専業主婦・主夫、学生、無職	77	127
【子育て】	子育て世代で社員・職員（正規・非正規）、自営業、役員	90	102
	子育て世代で専業主婦・主夫、学生、無職	1	18



【得点算出方法】

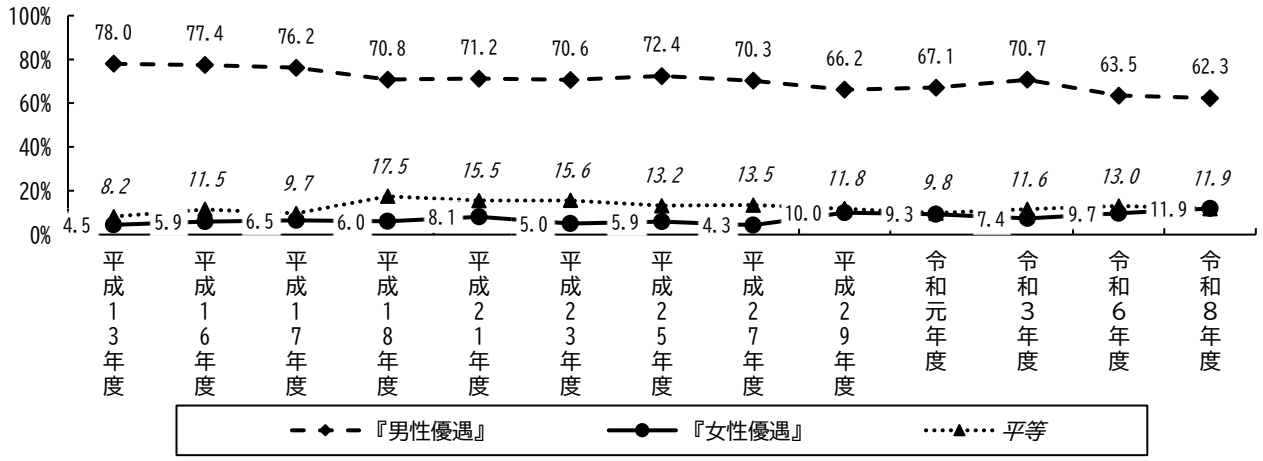
各選択肢を

・男性が非常に優遇されている　２点
・どちらかといえば男性が優遇されている　１点
・平等　０点
・どちらかといえば女性が優遇されている　－１点
・女性が非常に優遇されている　－２点

とし、平均点を算出しました。

※「子育て世代」とは「20～50代」で「子どもがいる」と回答した対象者を指します。
「子育て世代で専業主婦・主夫、学生、無職」の男性は回答者１名のみですが、参考として掲載しています。

【経年比較】



※無回答などを省略していますので、合計しても100%にならないことがあります。
※『男性優遇』（「男性が非常に優遇されている」＋「どちらかといえば男性が優遇されている」）、『女性優遇』（「女性が非常に優遇されている」＋「どちらかといえば女性が優遇されている」）

	調査数	男性が非常に優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が非常に優遇されている	わからない	無回答
平成13年度	1,133	10.7%	67.3%	8.2%	4.0%	0.5%	5.8%	3.4%
平成16年度	800	6.9%	70.5%	11.5%	5.6%	0.3%	4.5%	0.8%
平成17年度	836	6.5%	69.7%	9.7%	5.9%	0.6%	6.5%	1.2%
平成18年度	570	7.5%	63.3%	17.5%	5.6%	0.4%	5.1%	0.5%
平成21年度	653	7.8%	63.4%	15.5%	7.5%	0.6%	4.4%	0.8%
平成23年度	577	6.1%	64.5%	15.6%	4.3%	0.7%	8.1%	0.7%
平成25年度	793	7.2%	65.2%	13.2%	5.0%	0.9%	7.4%	1.0%
平成27年度	899	7.1%	63.2%	13.5%	3.7%	0.6%	11.3%	0.7%
平成29年度	782	5.5%	60.7%	11.8%	9.0%	1.0%	11.6%	0.4%
令和元年度	744	7.3%	59.8%	9.8%	8.1%	1.2%	12.5%	1.3%
令和３年度	826	10.3%	60.4%	11.6%	6.2%	1.2%	10.0%	0.2%
令和６年度	732	8.5%	55.1%	13.0%	8.3%	1.4%	13.7%	0.1%
令和８年度	700	6.4%	55.9%	11.9%	10.3%	1.6%	13.3%	0.7%

3. 各分野における男女平等感

問３　あなたは、次の分野で男女が平等であると思いますか。（それぞれ１つに○）

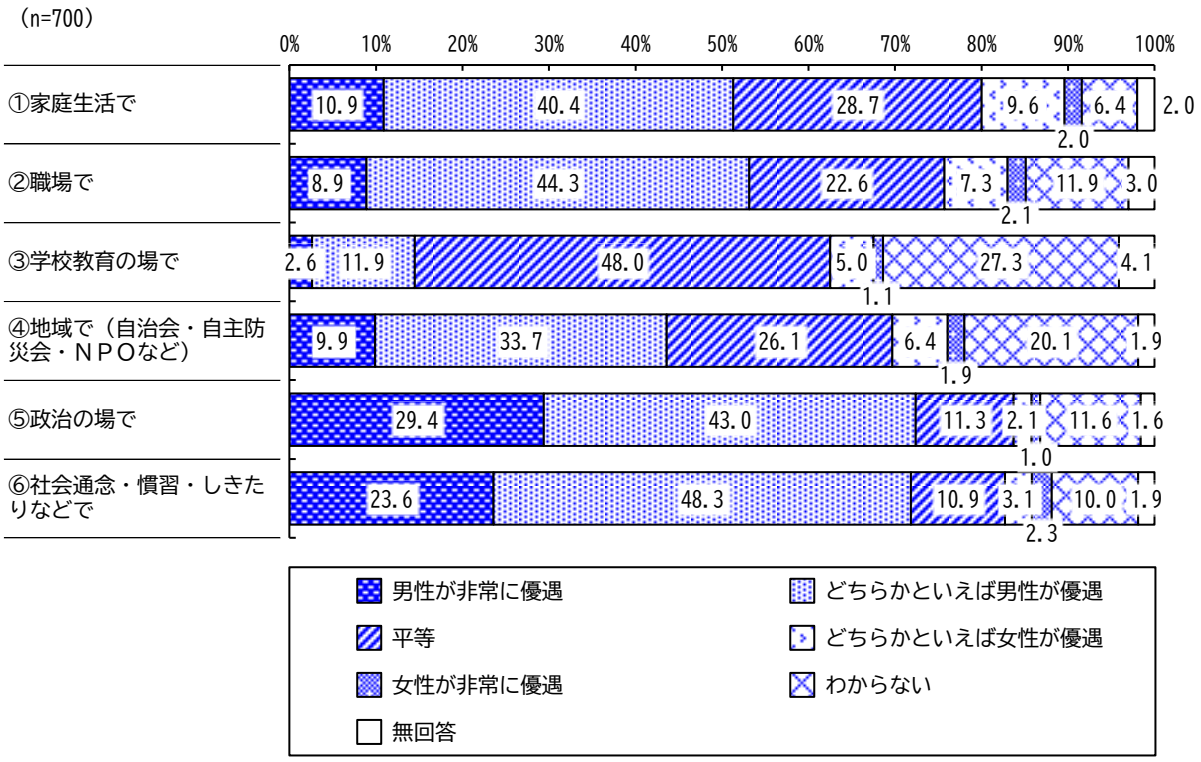
【家庭生活】【職場】【地域】【政治の場】【社会通念・慣習・しきたり】で
『男性優遇』と感じる割合が高い。

６つの分野において男女が平等になっていると思うかたずねたところ、『男性優遇』（「男性が非常に優遇」＋「どちらかといえば男性が優遇」）と『女性優遇』（「どちらかといえば女性が優遇」＋「女性が非常に優遇」）の比較では、すべての分野で『男性優遇』が上回っています。

最も『男性優遇』の割合が高かったのは【⑤政治の場で】が72.4%、次いで【⑥社会通念・慣習・しきたりなどで】が71.9%となっています。また、【①家庭生活で】（51.3%）、【②職場で】（53.2%）、【④地域で（自治会・自主防災会・NPOなど）】（43.6%）となっています。

最も「平等」の割合が高かったのは【③学校教育の場で】が48.0%で、半数近くが「平等」と感じています。また、【①家庭生活で】（28.7%）、【②職場で】（22.6%）、【④地域で（自治会・自主防災会・NPOなど）】（26.1%）が２割以上となっています。

【全体】



①家庭生活で

家庭生活で『男性優遇』と感じている人は51.3%。

【①家庭生活で】は『男性優遇』（「男性が非常に優遇」＋「どちらかといえば男性が優遇」）が51.3%、『女性優遇』（「どちらかといえば女性が優遇」＋「女性が非常に優遇」）が11.6%となっています。

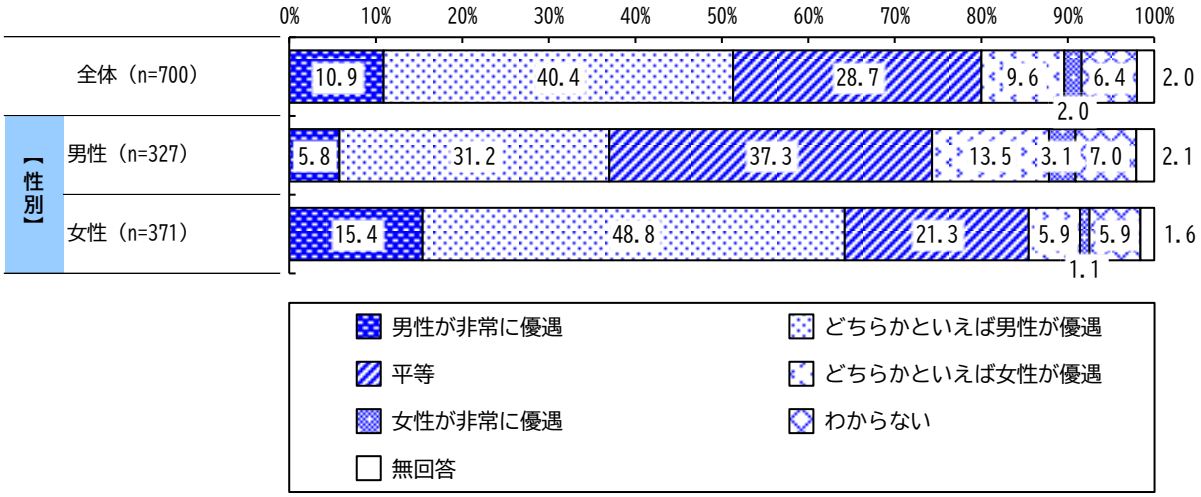
性別でみると、『男性優遇』が男性は37.0%、女性は64.2%となっており、男女間で差がみられます。

性・年代別でみると、男性の18歳～29歳で『男性優遇』の割合が他の年代に比べて低くなっています。また、女性の30歳～39歳で『男性優遇』の割合が他の年代に比べて高くなっています。

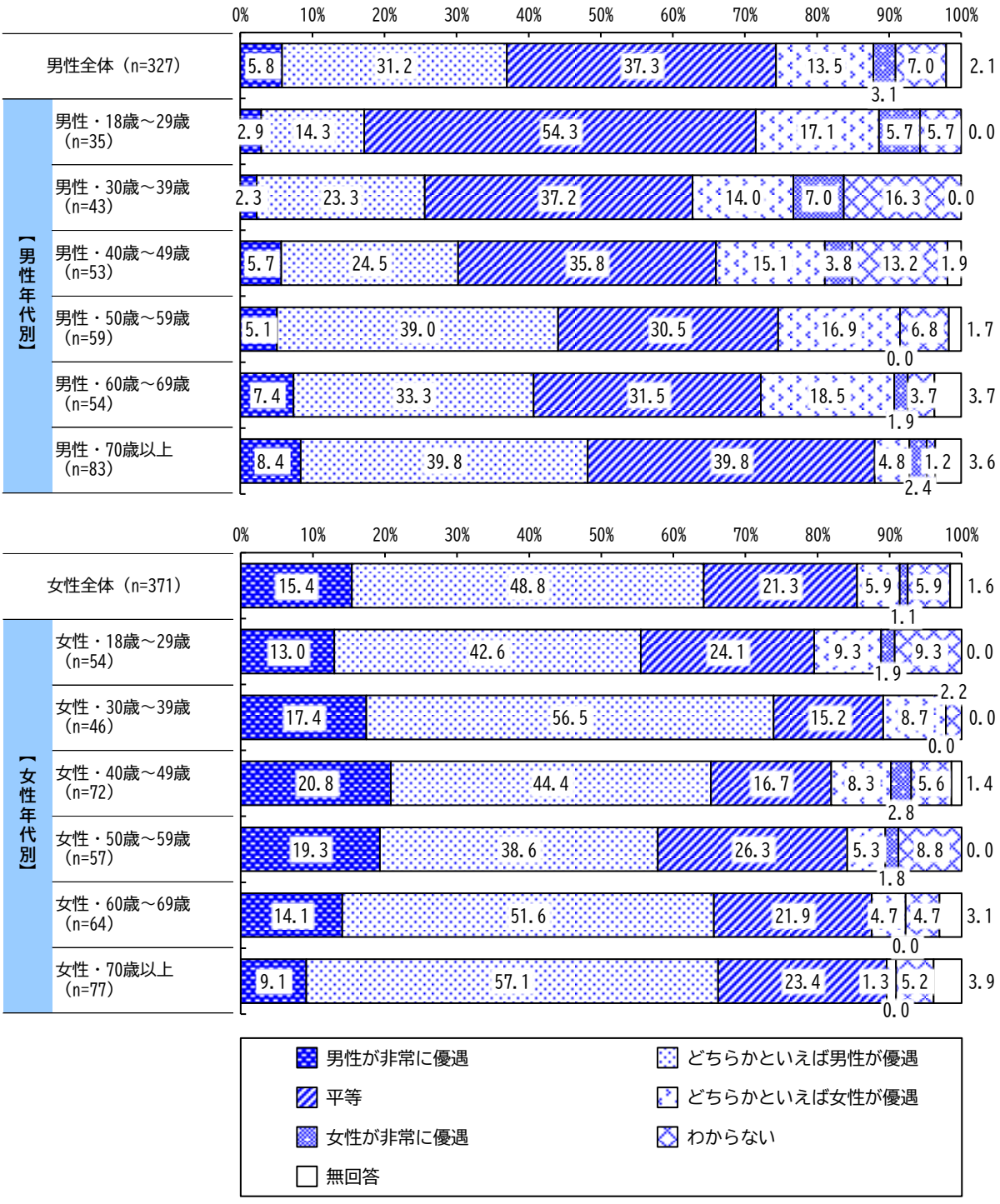
属性別得点をみると、性・年代別で男性と女性の差は、30歳～39歳で0.84ポイント、18歳～29歳で0.70ポイントと比較的大きな差がみられました。

経年比較でみると、前回調査から大きな変化はありません。

【全体・性別】

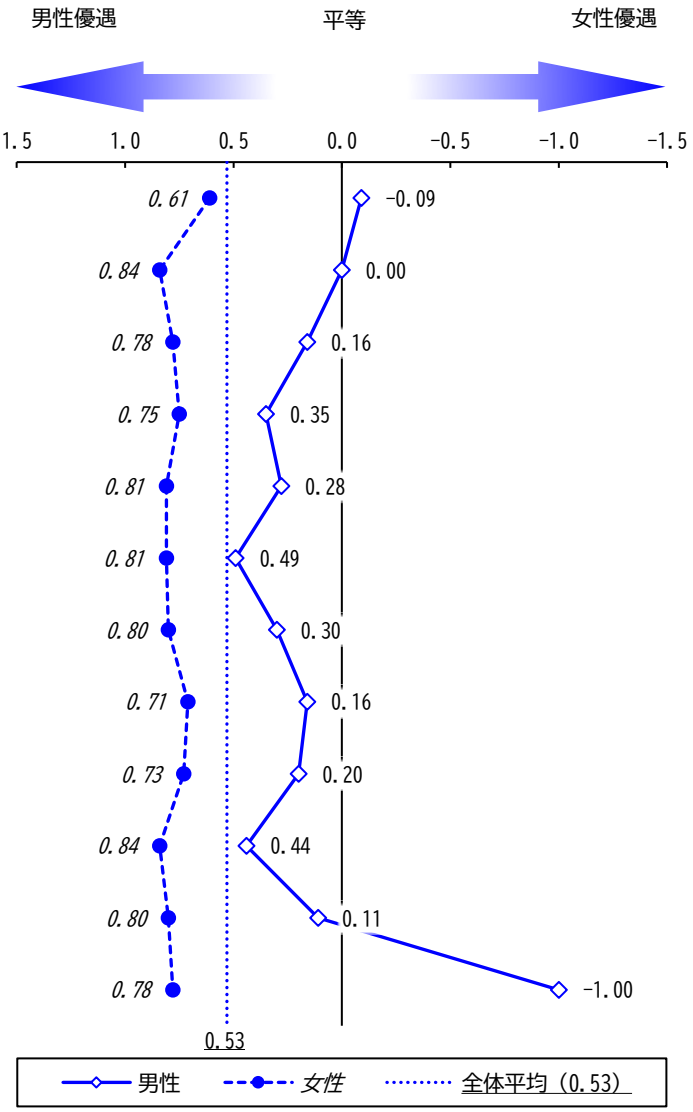


【①家庭生活で　性・年代別】


0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
男性全体（n=327）
5.8 31.2 37.3 13.5 3.1 7.0 2.1
【男性年代別】
男性・18歳～29歳（n=35）
2.9 14.3 54.3 17.1 5.7 5.7 0.0
男性・30歳～39歳（n=43）
2.3 23.3 37.2 14.0 7.0 16.3 0.0
男性・40歳～49歳（n=53）
5.7 24.5 35.8 15.1 3.8 13.2 1.9
男性・50歳～59歳（n=59）
5.1 39.0 30.5 16.9 0.0 6.8 1.7
男性・60歳～69歳（n=54）
7.4 33.3 31.5 18.5 1.9 3.7 3.7
男性・70歳以上（n=83）
8.4 39.8 39.8 4.8 2.4 1.2 3.6
女性全体（n=371）
15.4 48.8 21.3 5.9 1.1 5.9 1.6
【女性年代別】
女性・18歳～29歳（n=54）
13.0 42.6 24.1 9.3 1.9 9.3 0.0
女性・30歳～39歳（n=46）
17.4 56.5 15.2 8.7 2.2 0.0 0.0
女性・40歳～49歳（n=72）
20.8 44.4 16.7 8.3 2.8 5.6 1.4
女性・50歳～59歳（n=57）
19.3 38.6 26.3 5.3 1.8 8.8 0.0
女性・60歳～69歳（n=64）
14.1 51.6 21.9 4.7 0.0 4.7 3.1
女性・70歳以上（n=77）
9.1 57.1 23.4 1.3 0.0 5.2 3.9
男性が非常に優遇
どちらかといえば男性が優遇
平等
どちらかといえば女性が優遇
女性が非常に優遇
わからない
無回答

【①家庭生活で　属性別得点】

		男性	女性
		327	371
【年代別】	18歳～29歳	35	54
	30歳～39歳	43	46
	40歳～49歳	53	72
	50歳～59歳	59	57
	60歳～69歳	54	64
	70歳以上	83	77
【子ども】	子どもがいる	210	245
	子どもはいない	113	126
【職業】	社員・職員（正規・非正規）、自営業、役員	250	243
	専業主婦・主夫、学生、無職	77	127
【子育て】	子育て世代で社員・職員（正規・非正規）、自営業、役員	90	102
	子育て世代で専業主婦・主夫、学生、無職	1	18



【得点算出方法】

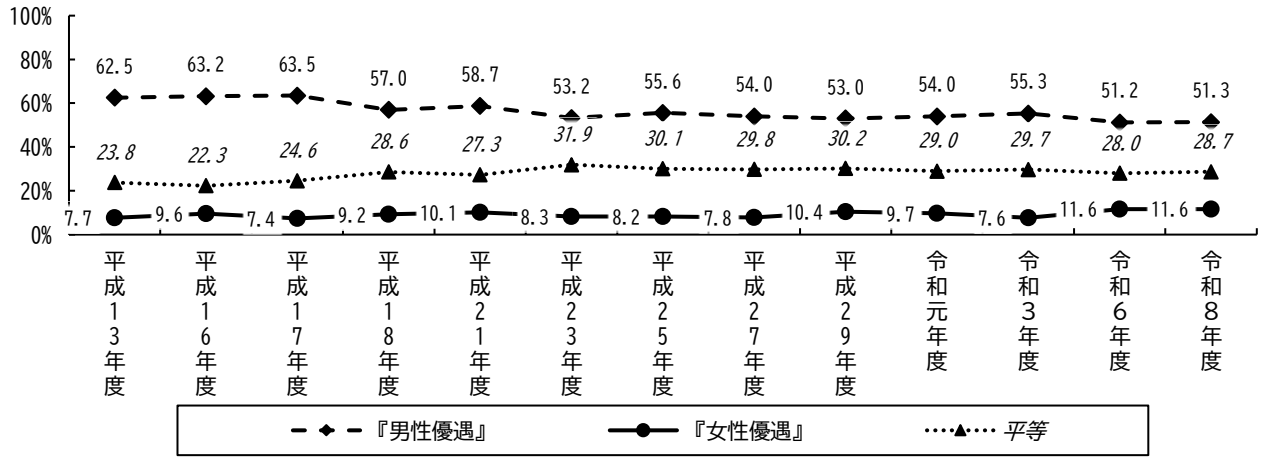
各選択肢を

・男性が非常に優遇　２点
・どちらかといえば男性が優遇　１点
・平等　０点
・どちらかといえば女性が優遇　－１点
・女性が非常に優遇　－２点

とし、平均点を算出しました。

※「子育て世代」とは「20～50代」で「子どもがいる」と回答した対象者を指します。
「子育て世代で専業主婦・主夫、学生、無職」の男性は回答者１名のみですが、参考として掲載しています。

【①家庭生活で　経年比較】



※無回答などを省略していますので、合計しても100%にならないことがあります。
※『男性優遇』（「男性が非常に優遇」＋「どちらかといえば男性が優遇」）、『女性優遇』（「女性が非常に優遇」＋「どちらかといえば女性が優遇」）

	調査数	男性が非常に優遇	どちらかといえば男性が優遇	平等	どちらかといえば女性が優遇	女性が非常に優遇	わからない	無回答
平成13年度	1,133	12.4%	50.1%	23.8%	7.1%	0.6%	3.7%	2.2%
平成16年度	800	10.1%	53.1%	22.3%	8.6%	1.0%	2.9%	2.0%
平成17年度	836	11.0%	52.5%	24.6%	6.1%	1.3%	2.9%	1.6%
平成18年度	570	9.1%	47.9%	28.6%	8.1%	1.1%	2.8%	2.5%
平成21年度	653	10.6%	48.1%	27.3%	8.6%	1.5%	2.5%	1.5%
平成23年度	577	9.5%	43.7%	31.9%	6.6%	1.7%	5.0%	1.6%
平成25年度	793	10.5%	45.1%	30.1%	7.3%	0.9%	4.2%	1.9%
平成27年度	899	12.0%	42.0%	29.8%	6.8%	1.0%	5.8%	2.6%
平成29年度	782	10.4%	42.6%	30.2%	8.7%	1.7%	5.4%	1.2%
令和元年度	744	11.0%	43.0%	29.0%	8.6%	1.1%	5.6%	1.6%
令和３年度	826	10.0%	45.3%	29.7%	6.1%	1.5%	6.9%	0.6%
令和６年度	732	9.6%	41.7%	28.0%	9.0%	2.6%	8.5%	0.7%
令和８年度	700	10.9%	40.4%	28.7%	9.6%	2.0%	6.4%	2.0%

②職場で

職場で『男性優遇』と感じている人は53.2%。

【②職場で】は『男性優遇』（「男性が非常に優遇」＋「どちらかといえば男性が優遇」）が53.2%、『女性優遇』（「どちらかといえば女性が優遇」＋「女性が非常に優遇」）が9.4%となっています。

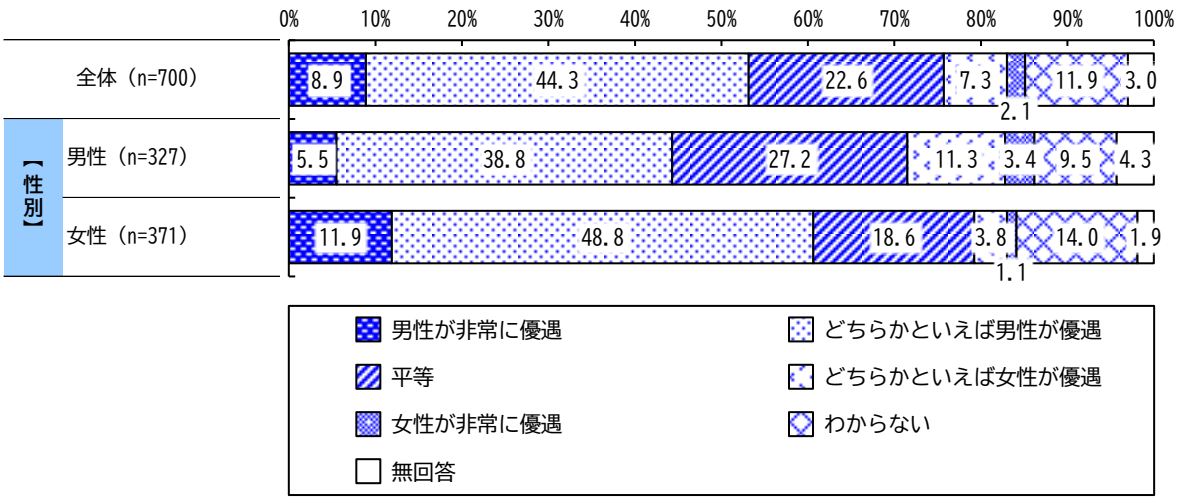
性別でみると、『男性優遇』が男性は44.3%、女性は60.7%となっており、男女間で差がみられます。

性・年代別でみると、女性の50歳～59歳、60歳～69歳で『男性優遇』の割合が他の年代に比べて高くなっています。

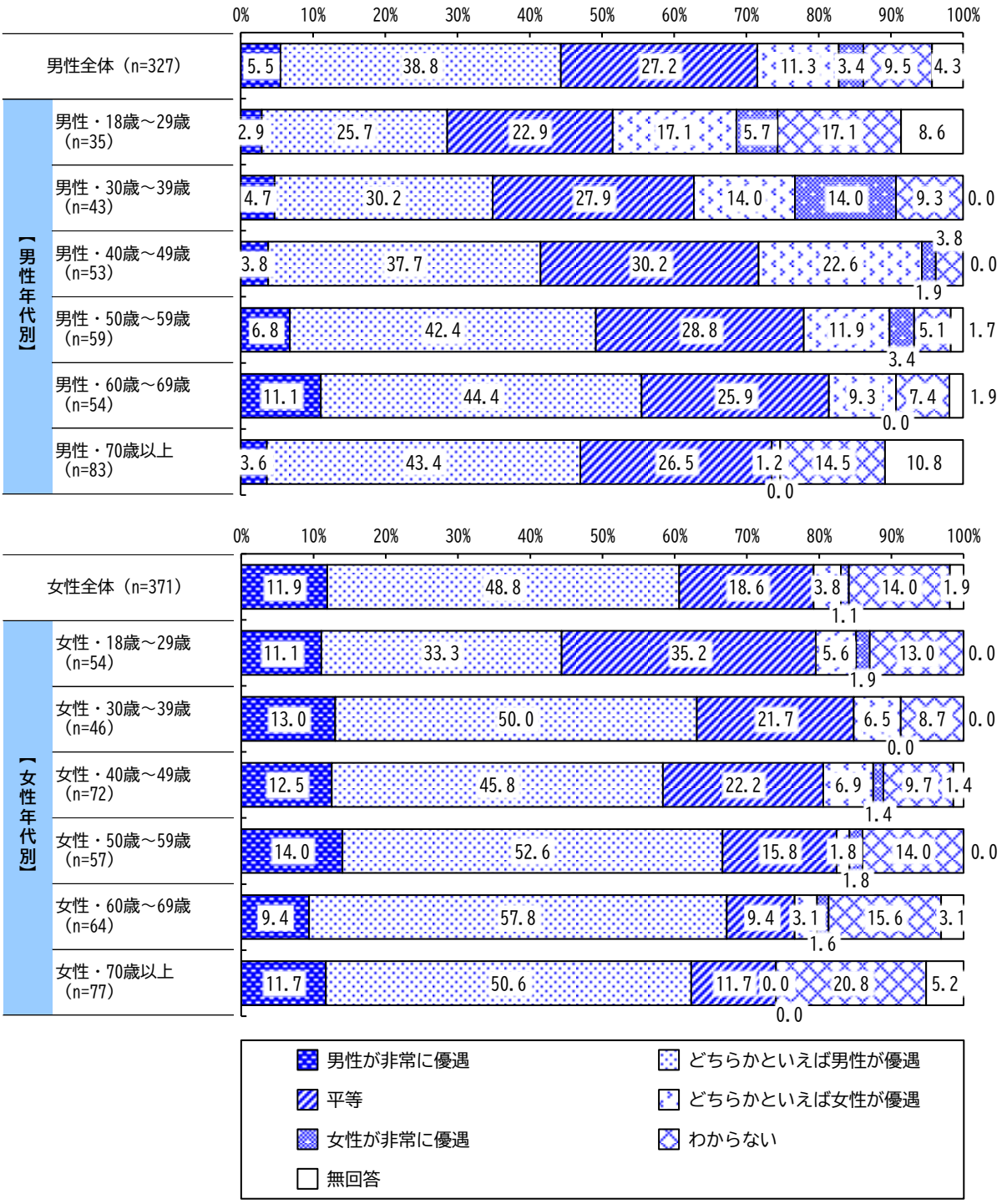
属性別得点をみると、性・年代別で男性と女性の差は、30歳～39歳で0.79ポイント、18歳～29歳と40歳～49歳で0.49ポイント、50歳～59歳で0.48ポイントとやや差がみられました。また、子どもがいない場合で男性と女性の差は0.72ポイントとなっています。

経年比較でみると、『男性優遇』の割合が減少傾向にあります。

【全体・性別】

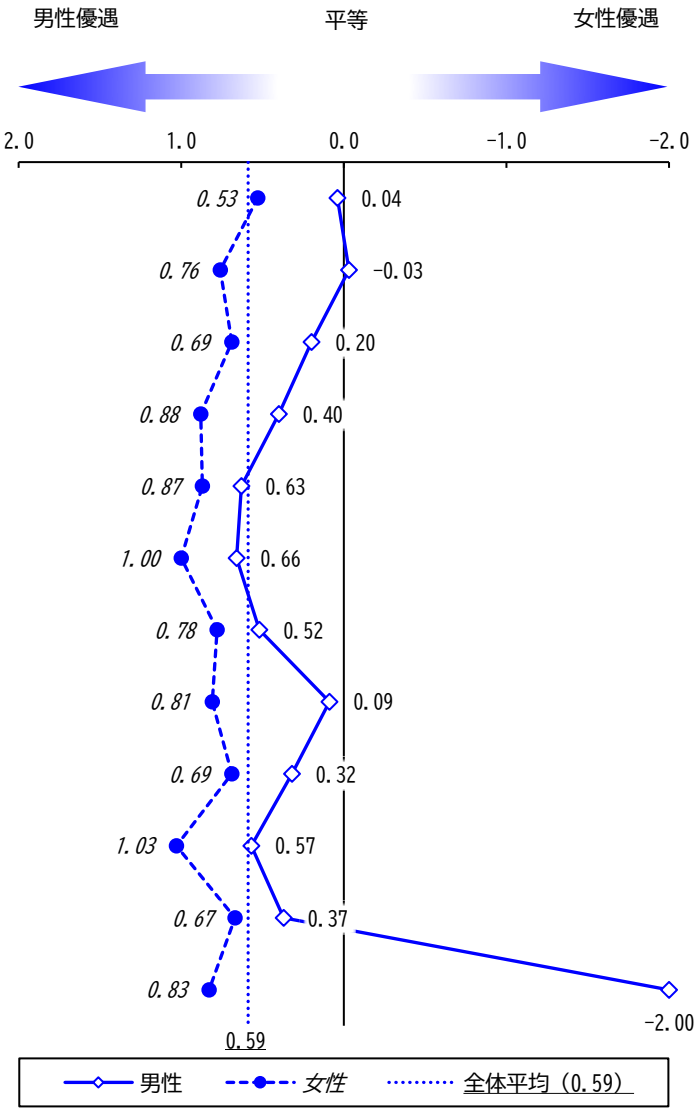


【②職場で　性・年代別】


0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
男性全体（n=327）
5.5
38.8
27.2
11.3
3.4
9.5
4.3
【男性年代別】
男性・18歳～29歳（n=35）
2.9
25.7
22.9
17.1
5.7
17.1
8.6
男性・30歳～39歳（n=43）
4.7
30.2
27.9
14.0
14.0
9.3
0.0
男性・40歳～49歳（n=53）
3.8
37.7
30.2
22.6
3.8
1.9
0.0
男性・50歳～59歳（n=59）
6.8
42.4
28.8
11.9
3.4
5.1
1.7
男性・60歳～69歳（n=54）
11.1
44.4
25.9
9.3
0.0
7.4
1.9
男性・70歳以上（n=83）
3.6
43.4
26.5
1.2
0.0
14.5
10.8
女性全体（n=371）
11.9
48.8
18.6
3.8
1.1
14.0
1.9
【女性年代別】
女性・18歳～29歳（n=54）
11.1
33.3
35.2
5.6
1.9
13.0
0.0
女性・30歳～39歳（n=46）
13.0
50.0
21.7
6.5
0.0
8.7
0.0
女性・40歳～49歳（n=72）
12.5
45.8
22.2
6.9
1.4
9.7
1.4
女性・50歳～59歳（n=57）
14.0
52.6
15.8
1.8
1.8
14.0
0.0
女性・60歳～69歳（n=64）
9.4
57.8
9.4
3.1
1.6
15.6
3.1
女性・70歳以上（n=77）
11.7
50.6
11.7
0.0
0.0
20.8
5.2
男性が非常に優遇
どちらかといえば男性が優遇
平等
どちらかといえば女性が優遇
女性が非常に優遇
わからない
無回答

【②職場で　属性別得点】

		男性	女性
		327	371
【年代別】	18歳～29歳	35	54
	30歳～39歳	43	46
	40歳～49歳	53	72
	50歳～59歳	59	57
	60歳～69歳	54	64
	70歳以上	83	77
【子ども】	子どもがいる	210	245
	子どもはいない	113	126
【職業】	社員・職員（正規・非正規）、自営業、役員	250	243
	専業主婦・主夫、学生、無職	77	127
【子育て】	子育て世代で社員・職員（正規・非正規）、自営業、役員	90	102
	子育て世代で専業主婦・主夫、学生、無職	1	18



【得点算出方法】

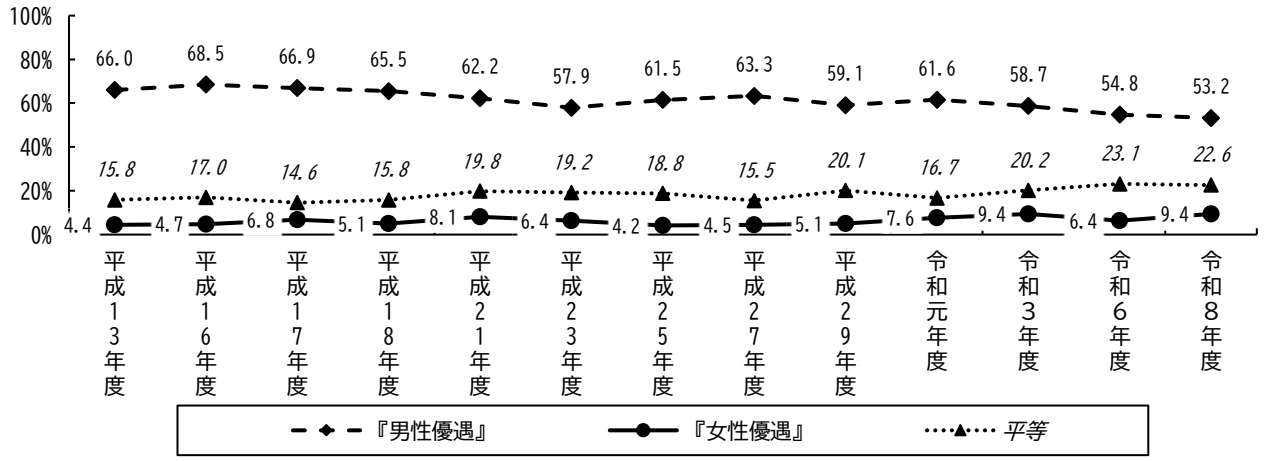
各選択肢を

・男性が非常に優遇　２点
・どちらかといえば男性が優遇　１点
・平等　０点
・どちらかといえば女性が優遇　－１点
・女性が非常に優遇　－２点

とし、平均点を算出しました。

※「子育て世代」とは「20～50代」で「子どもがいる」と回答した対象者を指します。
「子育て世代で専業主婦・主夫、学生、無職」の男性は回答者１名のみですが、参考として掲載しています。

【②職場で　経年比較】



※無回答などを省略していますので、合計しても100%にならないことがあります。
※『男性優遇』（「男性が非常に優遇」＋「どちらかといえば男性が優遇」）、『女性優遇』（「女性が非常に優遇」＋「どちらかといえば女性が優遇」）

	調査数	男性が非常に優遇	どちらかといえば男性が優遇	平等	どちらかといえば女性が優遇	女性が非常に優遇	わからない	無回答
平成13年度	1,133	19.2%	46.8%	15.8%	4.0%	0.4%	9.2%	4.8%
平成16年度	800	18.5%	50.0%	17.0%	4.6%	0.1%	6.3%	3.5%
平成17年度	836	15.9%	51.0%	14.6%	6.1%	0.7%	7.8%	3.9%
平成18年度	570	17.4%	48.1%	15.8%	4.2%	0.9%	8.9%	4.7%
平成21年度	653	16.1%	46.1%	19.8%	7.2%	0.9%	7.7%	2.3%
平成23年度	577	13.5%	44.4%	19.2%	5.2%	1.2%	11.3%	5.2%
平成25年度	793	16.6%	44.9%	18.8%	3.4%	0.8%	10.5%	5.0%
平成27年度	899	15.1%	48.2%	15.5%	4.1%	0.4%	12.5%	4.2%
平成29年度	782	13.2%	45.9%	20.1%	4.3%	0.8%	12.3%	3.5%
令和元年度	744	10.9%	50.7%	16.7%	6.7%	0.9%	12.0%	2.2%
令和３年度	826	13.3%	45.4%	20.2%	7.9%	1.5%	9.7%	2.1%
令和６年度	732	13.0%	41.8%	23.1%	5.1%	1.4%	13.5%	2.2%
令和８年度	700	8.9%	44.3%	22.6%	7.3%	2.1%	11.9%	3.0%

③学校教育の場で

学校教育の場で「平等」と感じている人は48.0%。

【③学校教育の場で】は「平等」が48.0%となっています。

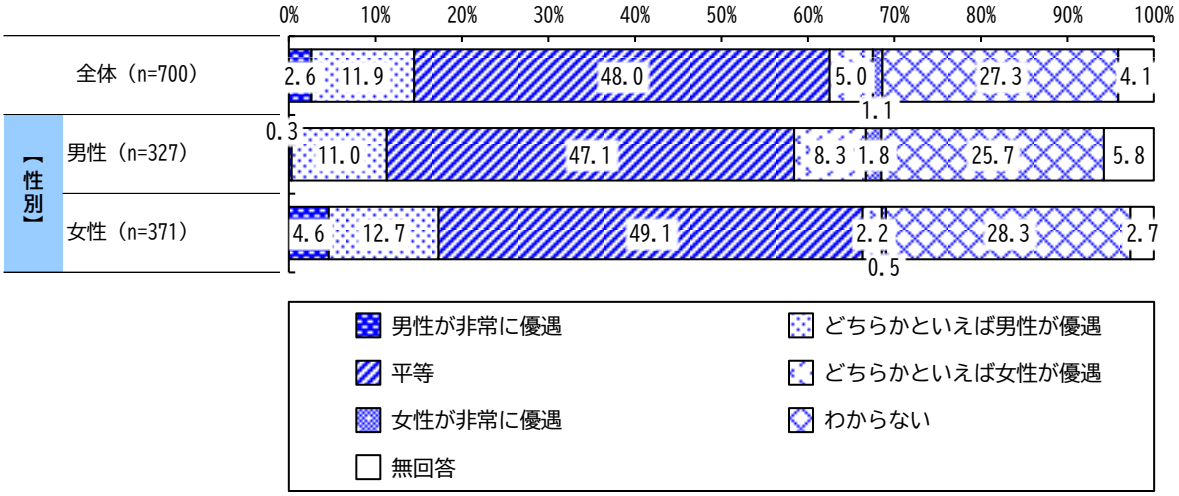
性別でみると、「平等」が男性は47.1%、女性は49.1%となっています。

性・年代別でみると、男性、女性ともに18歳～29歳で「平等」の割合が６割以上と高くなっている一方で、女性の60歳～69歳、70歳以上では『男性優遇』の割合が他の年代に比べて高くなっています。

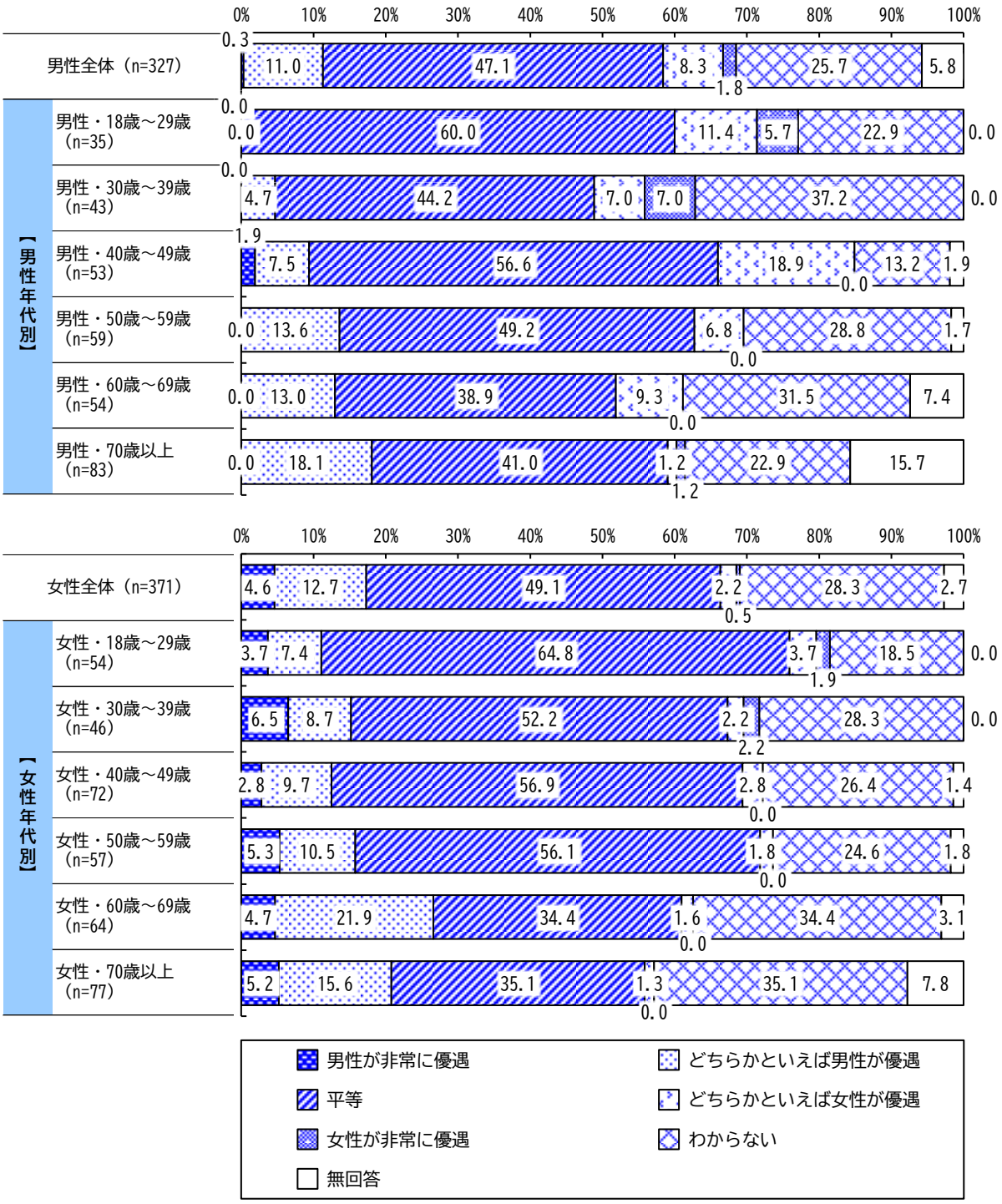
属性別得点をみると、性・年代別で男性と女性の差は、30歳～39歳で0.47ポイントと差がみられました。

経年比較でみると、前回調査から大きな変化はありません。

【全体・性別】

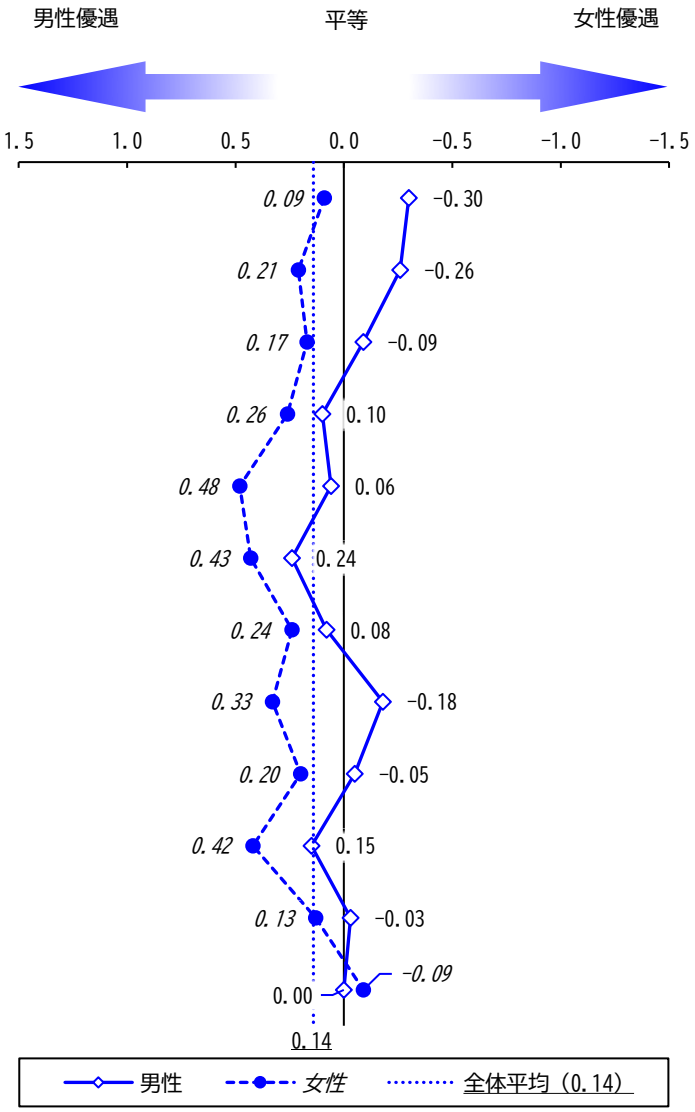


【③学校教育の場で　性・年代別】



【③学校教育の場で　属性別得点】

		男性	女性
		327	371
【年代別】	18歳～29歳	35	54
	30歳～39歳	43	46
	40歳～49歳	53	72
	50歳～59歳	59	57
	60歳～69歳	54	64
	70歳以上	83	77
【子ども】	子どもがいる	210	245
	子どもはいない	113	126
【職業】	社員・職員（正規・非正規）、自営業、役員	250	243
	専業主婦・主夫、学生、無職	77	127
【子育て】	子育て世代で社員・職員（正規・非正規）、自営業、役員	90	102
	子育て世代で専業主婦・主夫、学生、無職	1	18



【得点算出方法】

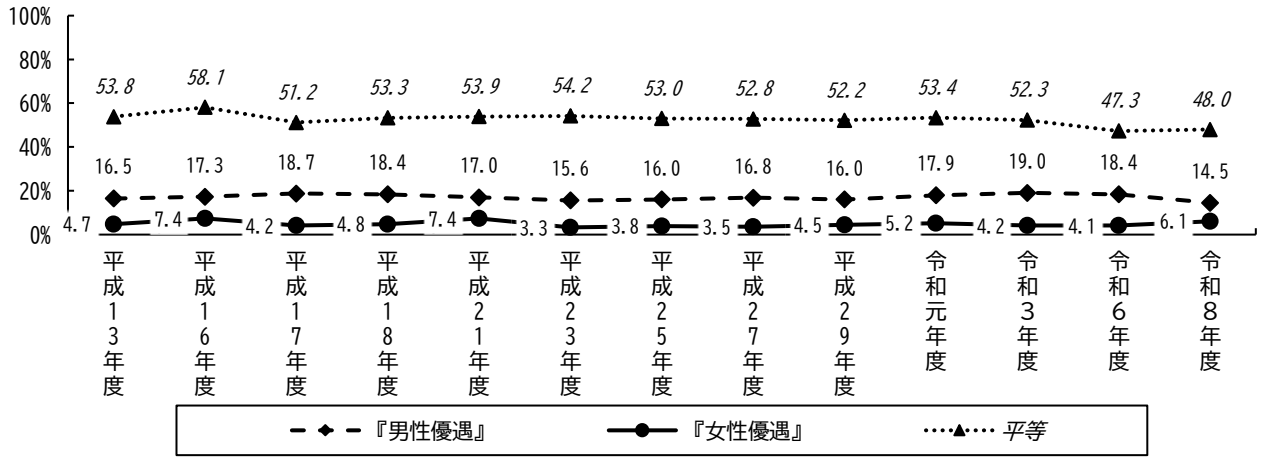
各選択肢を

・男性が非常に優遇　２点
・どちらかといえば男性が優遇　１点
・平等　０点
・どちらかといえば女性が優遇　－１点
・女性が非常に優遇　－２点

とし、平均点を算出しました。

※「子育て世代」とは「20～50代」で「子どもがいる」と回答した対象者を指します。
「子育て世代で専業主婦・主夫、学生、無職」の男性は回答者１名のみですが、参考として掲載しています。

【③学校教育の場で　経年比較】



※無回答などを省略していますので、合計しても100%にならないことがあります。
※『男性優遇』（「男性が非常に優遇」＋「どちらかといえば男性が優遇」）、『女性優遇』（「女性が非常に優遇」＋「どちらかといえば女性が優遇」）

	調査数	男性が非常に優遇	どちらかといえば男性が優遇	平等	どちらかといえば女性が優遇	女性が非常に優遇	わからない	無回答
平成13年度	1,133	1.8%	14.7%	53.8%	4.3%	0.4%	18.1%	6.8%
平成16年度	800	2.4%	14.9%	58.1%	6.5%	0.9%	14.1%	3.1%
平成17年度	836	1.7%	17.0%	51.2%	3.8%	0.4%	20.9%	5.0%
平成18年度	570	1.9%	16.5%	53.3%	3.9%	0.9%	18.1%	5.4%
平成21年度	653	1.7%	15.3%	53.9%	6.9%	0.5%	18.1%	3.7%
平成23年度	577	1.6%	14.0%	54.2%	2.8%	0.5%	20.6%	6.2%
平成25年度	793	2.4%	13.6%	53.0%	3.2%	0.6%	21.2%	6.1%
平成27年度	899	1.9%	14.9%	52.8%	3.3%	0.2%	22.1%	4.7%
平成29年度	782	2.6%	13.4%	52.2%	3.6%	0.9%	24.2%	3.2%
令和元年度	744	1.5%	16.4%	53.4%	4.7%	0.5%	20.7%	2.8%
令和３年度	826	1.6%	17.4%	52.3%	3.8%	0.4%	21.9%	2.7%
令和６年度	732	2.0%	16.4%	47.3%	3.4%	0.7%	28.1%	2.0%
令和８年度	700	2.6%	11.9%	48.0%	5.0%	1.1%	27.3%	4.1%

④地域で（自治会・自主防災会・NPOなど）

地域の活動で『男性優遇』と感じている人は43.6%。

【④地域で（自治会・自主防災会・NPOなど）】は『男性優遇』（「男性が非常に優遇」＋「どちらかといえば男性が優遇」）が43.6%、『女性優遇』（「どちらかといえば女性が優遇」＋「女性が非常に優遇」）が8.3%となっています。

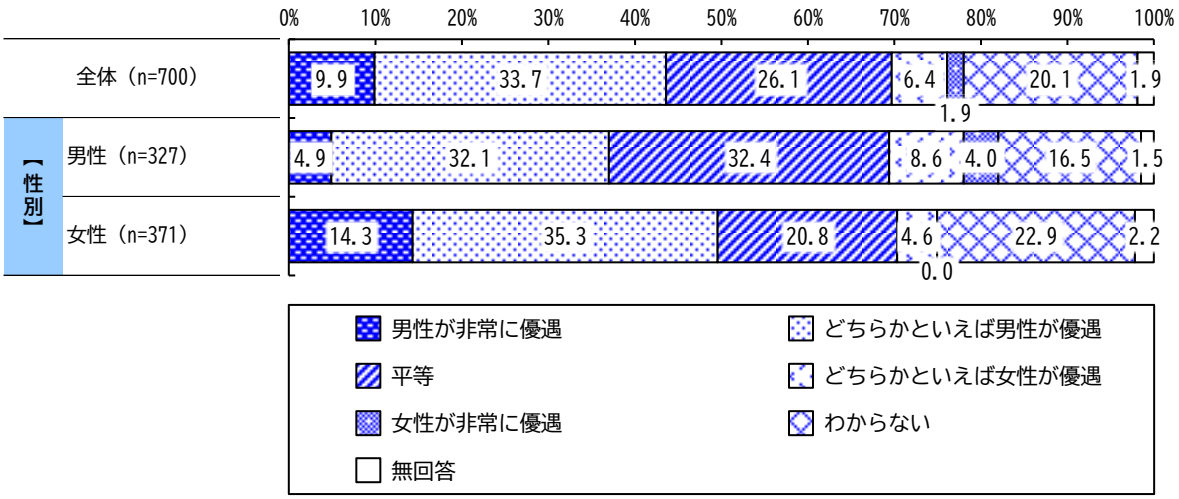
性別でみると、『男性優遇』が男性は37.0%、女性は49.6%となっており、男女間で差がみられます。

性・年代別でみると、女性の50歳～59歳、60歳～69歳、70歳以上で『男性優遇』の割合が５割以上となっています。また、男性の18歳～29歳、30歳～39歳、40歳～49歳で『男性優遇』の割合が３割未満となっています。

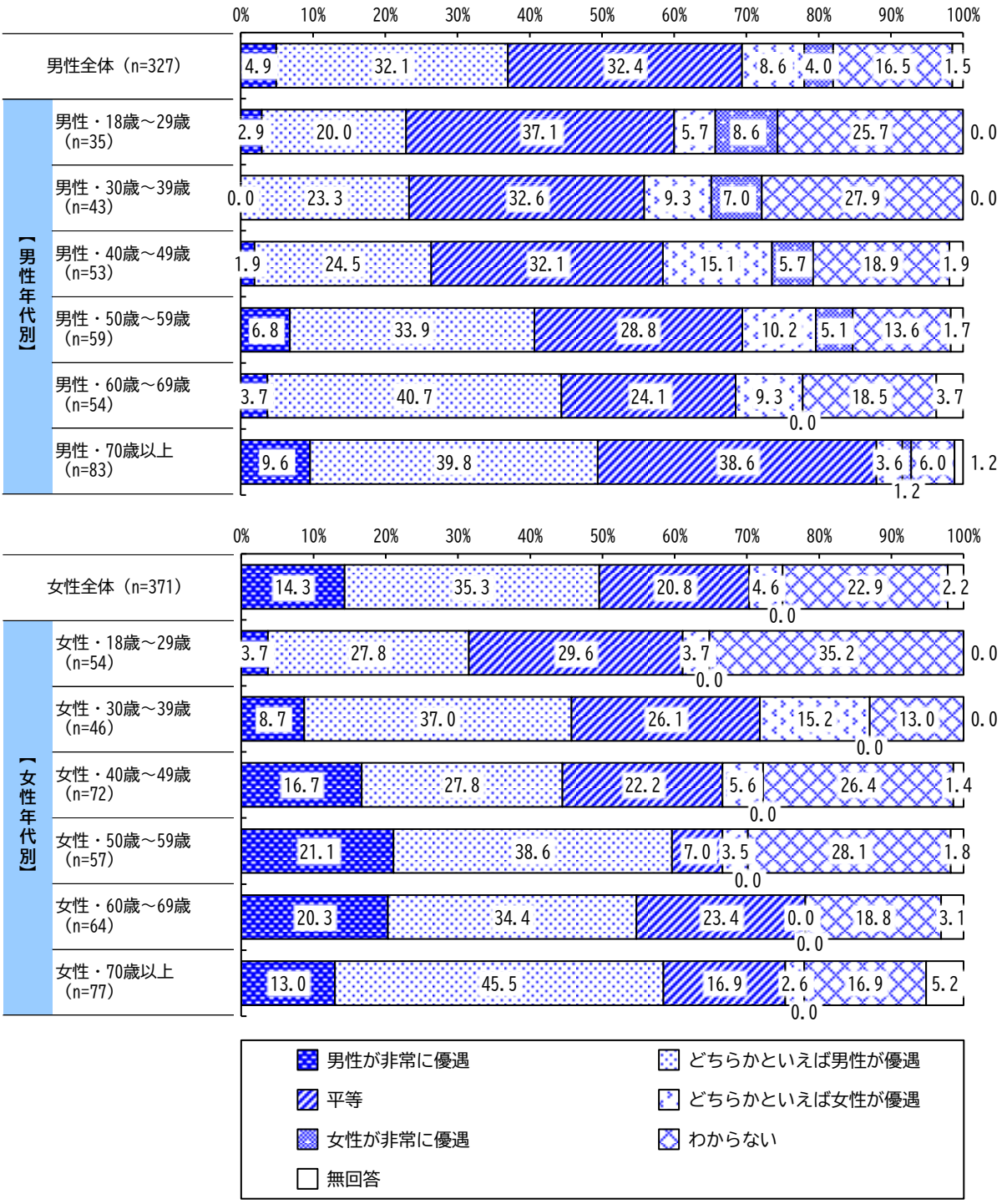
属性別得点をみると、すべての属性で男性優遇側に位置しています。性・年代別で男性と女性の差は、50歳～59歳で0.78ポイント、40歳～49歳で0.75ポイントと比較的大きな差がみられました。

経年比較でみると、『男性優遇』の割合が前回調査より2.8ポイント低くなっています。

【全体・性別】

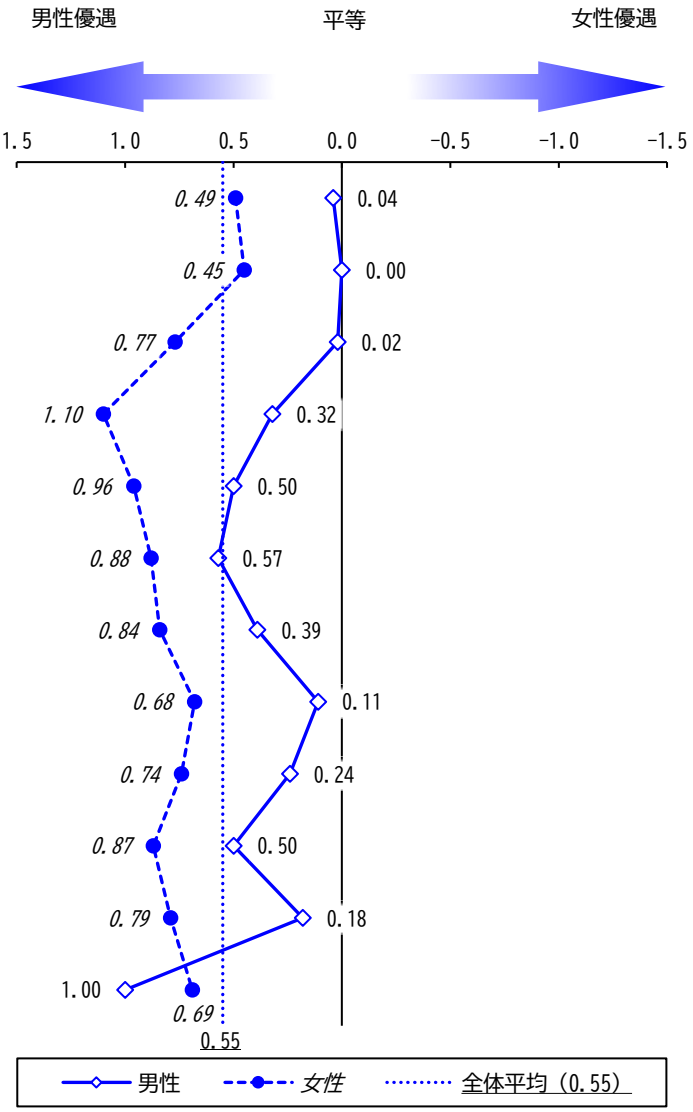


【④地域で（自治会・自主防災会・NPOなど）　性・年代別】



【④地域で（自治会・自主防災会・NPOなど）　属性別得点】

		（ｎ） 男性	女性
		327	371
【年代別】	18歳～29歳	35	54
	30歳～39歳	43	46
	40歳～49歳	53	72
	50歳～59歳	59	57
	60歳～69歳	54	64
	70歳以上	83	77
【子ども】	子どもがいる	210	245
	子どもはいない	113	126
【職業】	社員・職員（正規・非正規）、自営業、役員	250	243
	専業主婦・主夫、学生、無職	77	127
【子育て】	子育て世代で社員・職員（正規・非正規）、自営業、役員	90	102
	子育て世代で専業主婦・主夫、学生、無職	1	18



【得点算出方法】

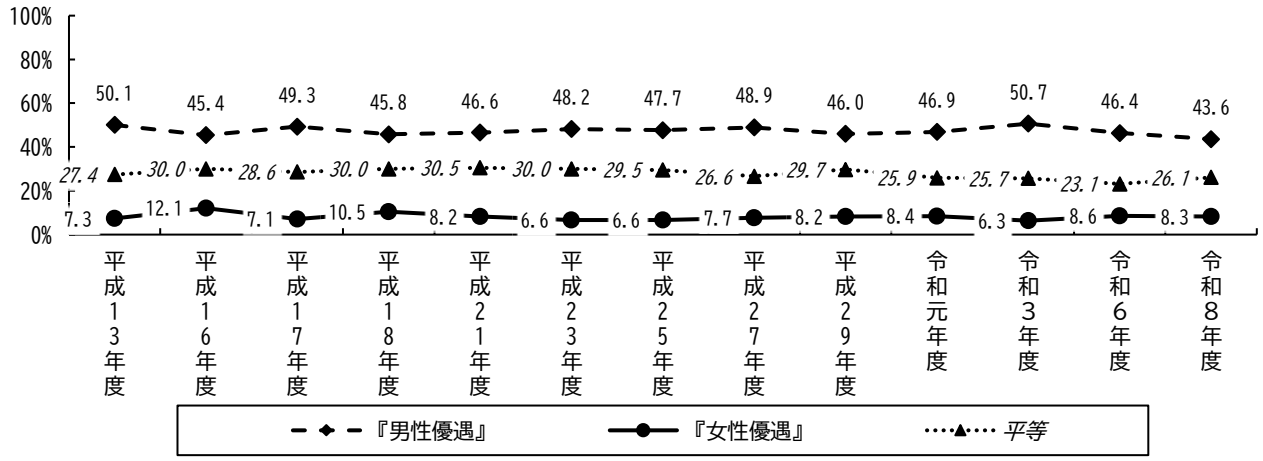
各選択肢を

・男性が非常に優遇　２点
・どちらかといえば男性が優遇　１点
・平等　０点
・どちらかといえば女性が優遇　－１点
・女性が非常に優遇　－２点

とし、平均点を算出しました。

※「子育て世代」とは「20～50代」で「子どもがいる」と回答した対象者を指します。
「子育て世代で専業主婦・主夫、学生、無職」の男性は回答者１名のみですが、参考として掲載しています。

【④地域で（自治会・自主防災会・NPOなど）　経年比較】



※無回答などを省略していますので、合計しても100%にならないことがあります。
※『男性優遇』（「男性が非常に優遇」＋「どちらかといえば男性が優遇」）、『女性優遇』（「女性が非常に優遇」＋「どちらかといえば女性が優遇」）

	調査数	男性が非常に優遇	どちらかといえば男性が優遇	平等	どちらかといえば女性が優遇	女性が非常に優遇	わからない	無回答
平成13年度	1,133	8.9%	41.2%	27.4%	6.7%	0.6%	11.1%	4.0%
平成16年度	800	7.5%	37.9%	30.0%	11.6%	0.5%	9.4%	3.1%
平成17年度	836	7.9%	41.4%	28.6%	6.6%	0.5%	11.8%	3.2%
平成18年度	570	8.8%	37.0%	30.0%	9.8%	0.7%	10.5%	3.2%
平成21年度	653	7.5%	39.1%	30.5%	7.7%	0.5%	11.5%	3.4%
平成23年度	577	9.7%	38.5%	30.0%	5.2%	1.4%	12.1%	3.1%
平成25年度	793	9.7%	38.0%	29.5%	6.1%	0.5%	12.5%	3.8%
平成27年度	899	10.3%	38.6%	26.6%	7.3%	0.4%	13.8%	2.9%
平成29年度	782	10.1%	35.9%	29.7%	7.0%	1.2%	15.1%	1.0%
令和元年度	744	8.5%	38.4%	25.9%	7.7%	0.7%	16.4%	2.4%
令和３年度	826	10.9%	39.8%	25.7%	5.6%	0.7%	16.5%	0.8%
令和６年度	732	11.9%	34.6%	23.1%	6.8%	1.8%	20.9%	1.0%
令和８年度	700	9.9%	33.7%	26.1%	6.4%	1.9%	20.1%	1.9%

⑤政治の場で

政治の場で『男性優遇』と感じている人は72.4%、

【⑤政治の場で】は『男性優遇』(「男性が非常に優遇」＋「どちらかといえば男性が優遇」) が72.4%、『女性優遇』(「どちらかといえば女性が優遇」＋「女性が非常に優遇」) が3.1%となっています。

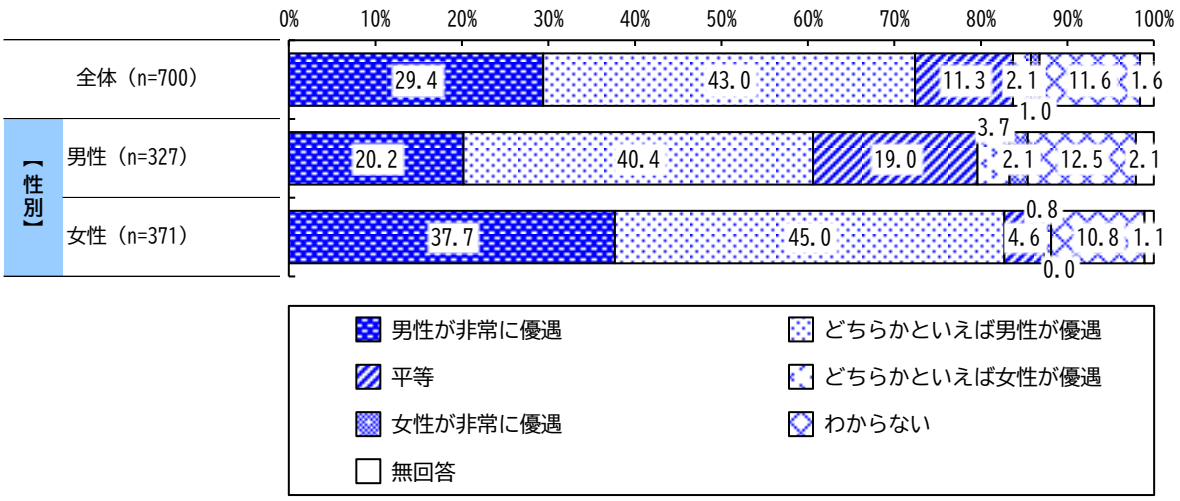
性別でみると、『男性優遇』が男性は60.6%、女性は82.7%となっており、男女間で差がみられます。

性・年代別でみると、『男性優遇』は女性の50歳～59歳で89.5%、30歳～39歳で87.0%などとなっています。

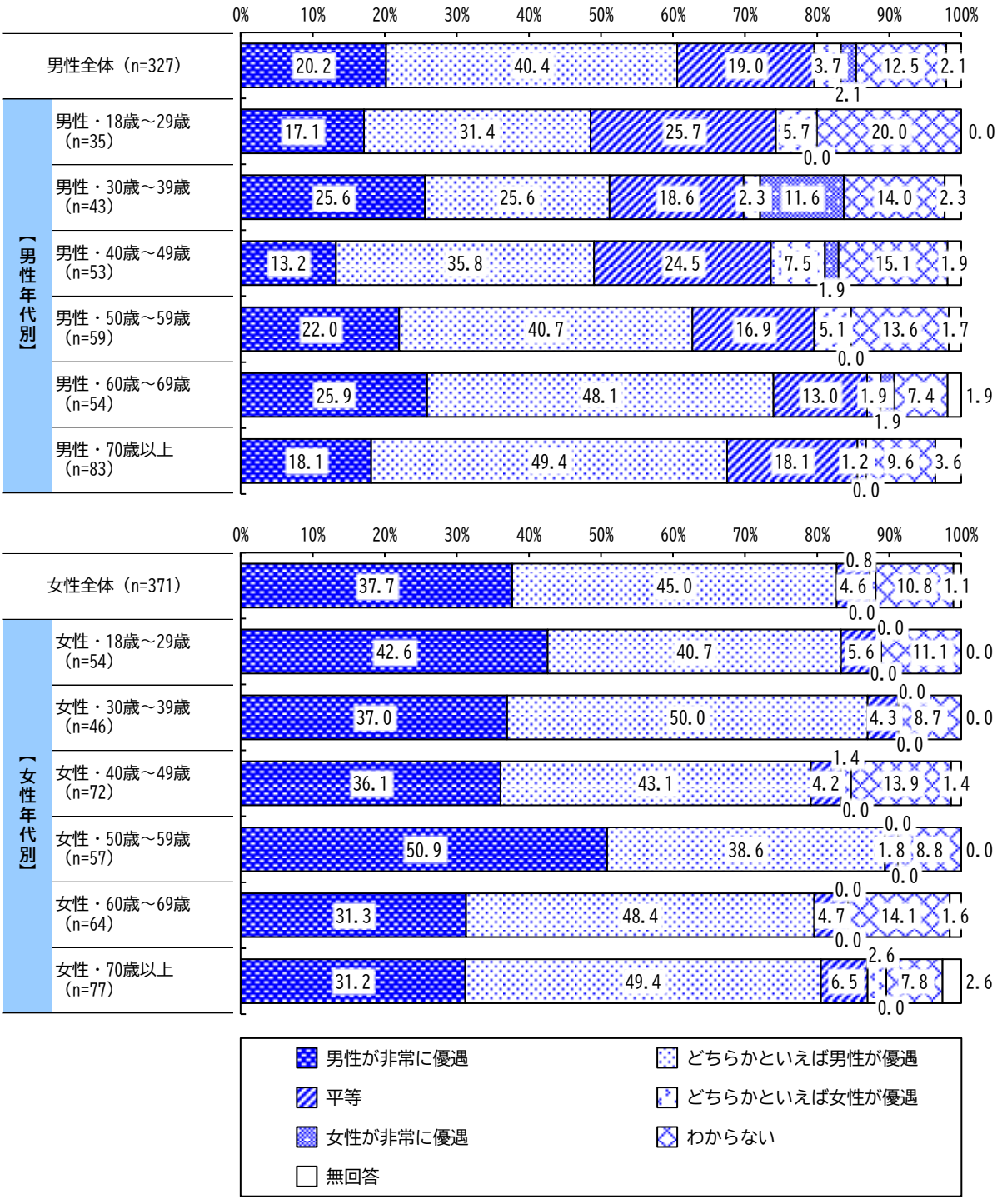
属性別得点をみると、性・年代別で男性と女性の差は、18歳～29歳で0.67ポイント、30歳～39歳で0.75ポイント、40歳～49歳で0.73ポイント、50歳～59歳で0.60ポイント差がみられました。

経年比較でみると、『男性優遇』の割合が前回調査より3.4ポイント低くなっているものの、高い割合で推移しています。

【全体・性別】

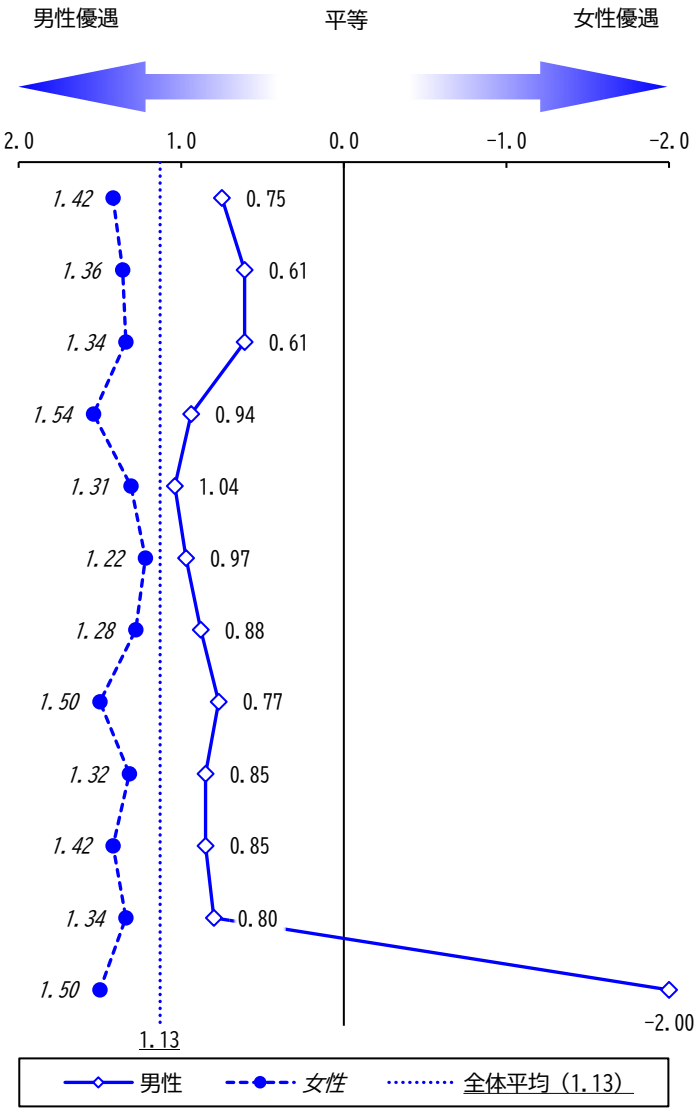


【⑤政治の場で　性・年代別】


0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
男性全体（n=327）
20.2
40.4
19.0
3.7
12.5
2.1
2.1
【男性年代別】
男性・18歳～29歳（n=35）
17.1
31.4
25.7
5.7
20.0
0.0
0.0
男性・30歳～39歳（n=43）
25.6
25.6
18.6
2.3
11.6
14.0
2.3
男性・40歳～49歳（n=53）
13.2
35.8
24.5
7.5
15.1
1.9
1.9
男性・50歳～59歳（n=59）
22.0
40.7
16.9
5.1
13.6
1.7
0.0
男性・60歳～69歳（n=54）
25.9
48.1
13.0
1.9
7.4
1.9
1.9
男性・70歳以上（n=83）
18.1
49.4
18.1
1.2
9.6
3.6
0.0
女性全体（n=371）
37.7
45.0
0.8
4.6
10.8
1.1
0.0
【女性年代別】
女性・18歳～29歳（n=54）
42.6
40.7
0.0
5.6
11.1
0.0
0.0
0.0
女性・30歳～39歳（n=46）
37.0
50.0
0.0
4.3
8.7
0.0
0.0
女性・40歳～49歳（n=72）
36.1
43.1
1.4
4.2
13.9
1.4
0.0
女性・50歳～59歳（n=57）
50.9
38.6
0.0
1.8
8.8
0.0
0.0
0.0
女性・60歳～69歳（n=64）
31.3
48.4
0.0
4.7
14.1
1.6
0.0
女性・70歳以上（n=77）
31.2
49.4
2.6
6.5
7.8
2.6
0.0
男性が非常に優遇
どちらかといえば男性が優遇
平等
どちらかといえば女性が優遇
女性が非常に優遇
わからない
無回答

【⑤政治の場で　属性別得点】

		男性	女性
		327	371
【年代別】	18歳～29歳	35	54
	30歳～39歳	43	46
	40歳～49歳	53	72
	50歳～59歳	59	57
	60歳～69歳	54	64
	70歳以上	83	77
【子ども】	子どもがいる	210	245
	子どもはいない	113	126
【職業】	社員・職員（正規・非正規）、自営業、役員	250	243
	専業主婦・主夫、学生、無職	77	127
【子育て】	子育て世代で社員・職員（正規・非正規）、自営業、役員	90	102
	子育て世代で専業主婦・主夫、学生、無職	1	18



【得点算出方法】

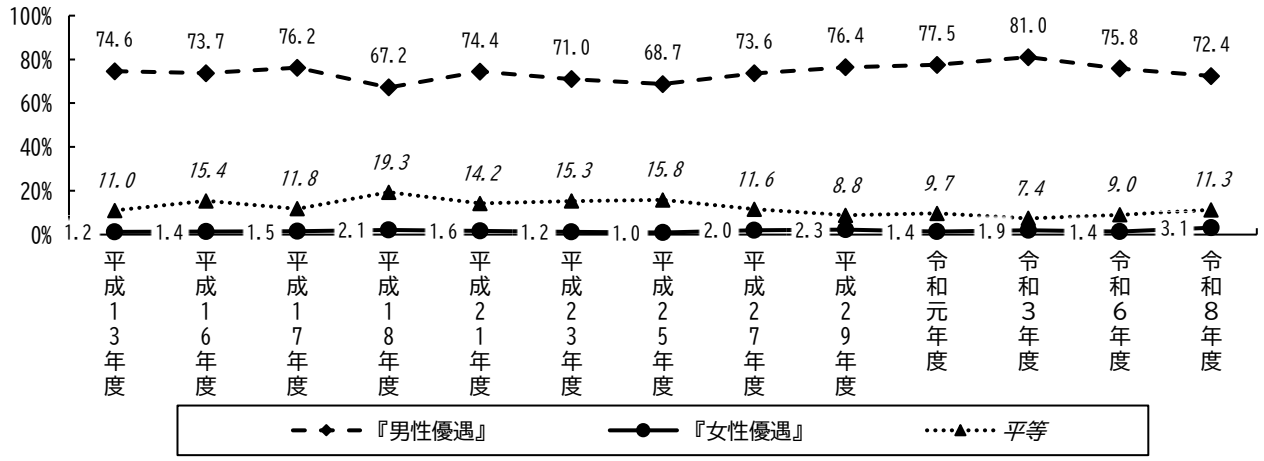
各選択肢を

・男性が非常に優遇　２点
・どちらかといえば男性が優遇　１点
・平等　０点
・どちらかといえば女性が優遇　－１点
・女性が非常に優遇　－２点

とし、平均点を算出しました。

※「子育て世代」とは「20～50代」で「子どもがいる」と回答した対象者を指します。
「子育て世代で専業主婦・主夫、学生、無職」の男性は回答者１名のみですが、参考として掲載しています。

【⑤政治の場で　経年比較】



※無回答などを省略していますので、合計しても100%にならないことがあります。
※『男性優遇』（「男性が非常に優遇」＋「どちらかといえば男性が優遇」）、『女性優遇』（「女性が非常に優遇」＋「どちらかといえば女性が優遇」）

	調査数	男性が非常に優遇	どちらかといえば男性が優遇	平等	どちらかといえば女性が優遇	女性が非常に優遇	わからない	無回答
平成13年度	1,133	29.9%	44.7%	11.0%	1.1%	0.1%	9.4%	3.8%
平成16年度	800	30.3%	43.4%	15.4%	1.3%	0.1%	7.1%	2.5%
平成17年度	836	31.3%	44.9%	11.8%	1.1%	0.4%	7.1%	3.5%
平成18年度	570	25.3%	41.9%	19.3%	1.9%	0.2%	8.1%	3.3%
平成21年度	653	29.4%	45.0%	14.2%	1.4%	0.2%	7.8%	2.0%
平成23年度	577	27.2%	43.8%	15.3%	1.0%	0.2%	9.2%	3.3%
平成25年度	793	25.7%	43.0%	15.8%	0.9%	0.1%	10.3%	4.2%
平成27年度	899	30.9%	42.7%	11.6%	1.6%	0.4%	9.6%	3.2%
平成29年度	782	28.6%	47.8%	8.8%	2.0%	0.3%	11.1%	1.3%
令和元年度	744	31.9%	45.6%	9.7%	1.3%	0.1%	9.3%	2.2%
令和３年度	826	38.6%	42.4%	7.4%	1.7%	0.2%	8.8%	0.8%
令和６年度	732	36.5%	39.3%	9.0%	0.8%	0.5%	13.0%	0.8%
令和８年度	700	29.4%	43.0%	11.3%	2.1%	1.0%	11.6%	1.6%

⑥社会通念・慣習・しきたりなどで

社会通念･慣習･しきたりなどで『男性優遇』と感じている人は71.9%。

【⑥社会通念・慣習・しきたりなどで】は『男性優遇』(「男性が非常に優遇」＋「どちらかといえば男性が優遇」)が71.9%、『女性優遇』(「どちらかといえば女性が優遇」＋「女性が非常に優遇」)が5.4%となっています。

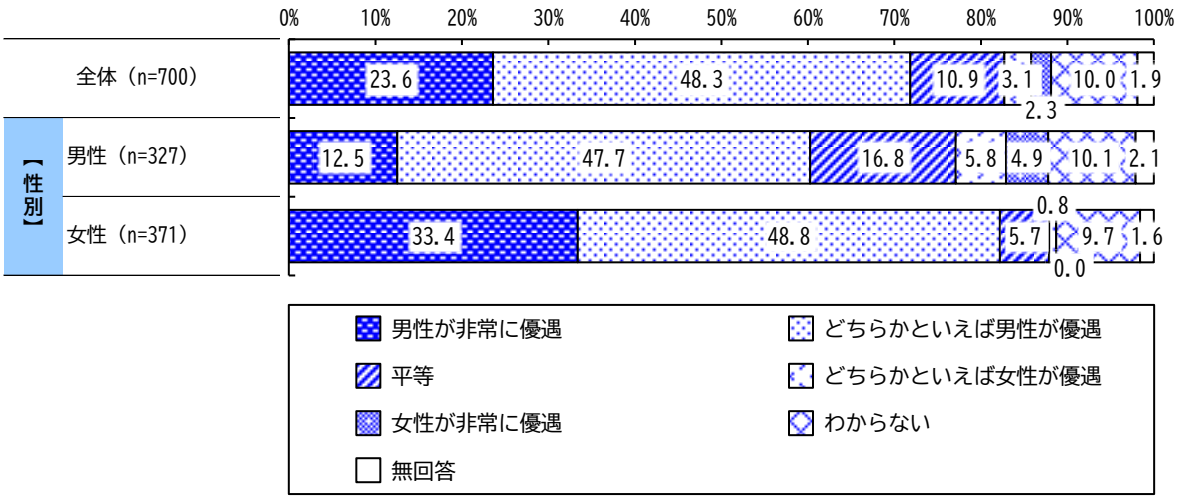
性別でみると、『男性優遇』は男性が60.2%、女性が82.2%となっており、男女間で差がみられます。

性・年代別でみると、女性の50歳～59歳で『男性優遇』が87.7%と、他の年代に比べて高くなっています。

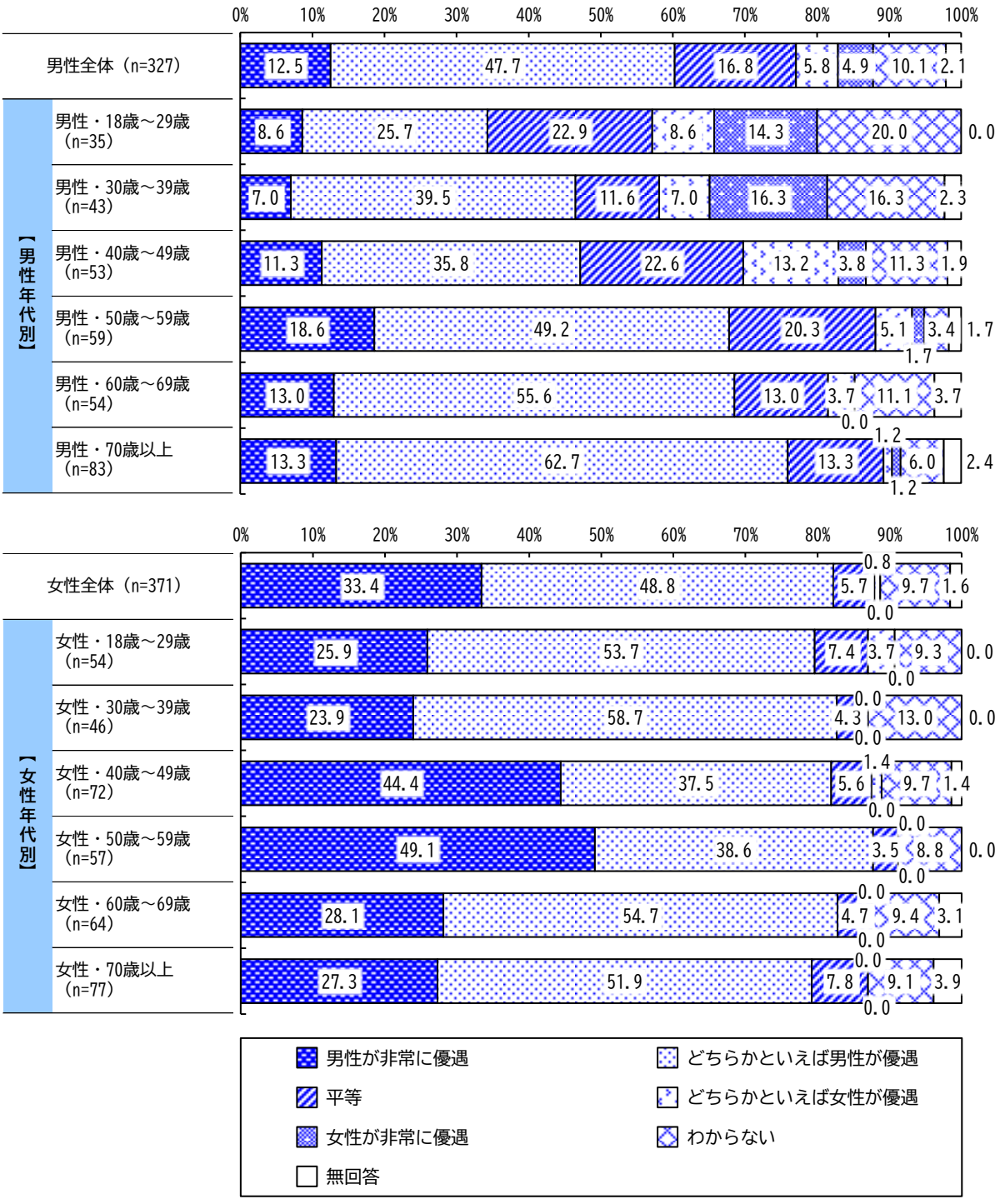
属性別得点をみると、性・年代別で男性と女性の差は、30歳～39歳が1.06ポイント、18歳～29歳が1.05ポイントと比較的大きな差がみられました。

経年比較でみると、『男性優遇』の割合は減少傾向にあるものの、７割以上と高い割合で推移しています。

【全体・性別】

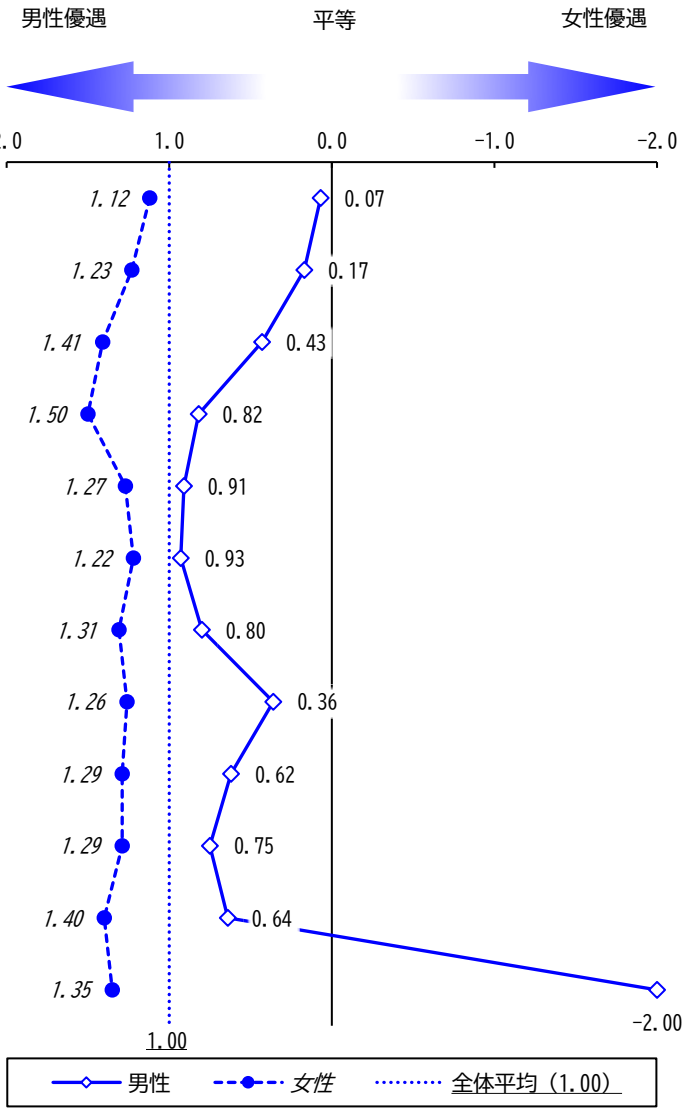


【⑥社会通念・慣習・しきたりなどで　性・年代別】



【⑥社会通念・慣習・しきたりなどで　属性別得点】

		（ｎ） 男性	女性
		327	371
【年代別】	18歳～29歳	35	54
	30歳～39歳	43	46
	40歳～49歳	53	72
	50歳～59歳	59	57
	60歳～69歳	54	64
	70歳以上	83	77
【子ども】	子どもがいる	210	245
	子どもはいない	113	126
【職業】	社員・職員（正規・非正規）、自営業、役員	250	243
	専業主婦・主夫、学生、無職	77	127
【子育て】	子育て世代で社員・職員（正規・非正規）、自営業、役員	90	102
	子育て世代で専業主婦・主夫、学生、無職	1	18



【得点算出方法】

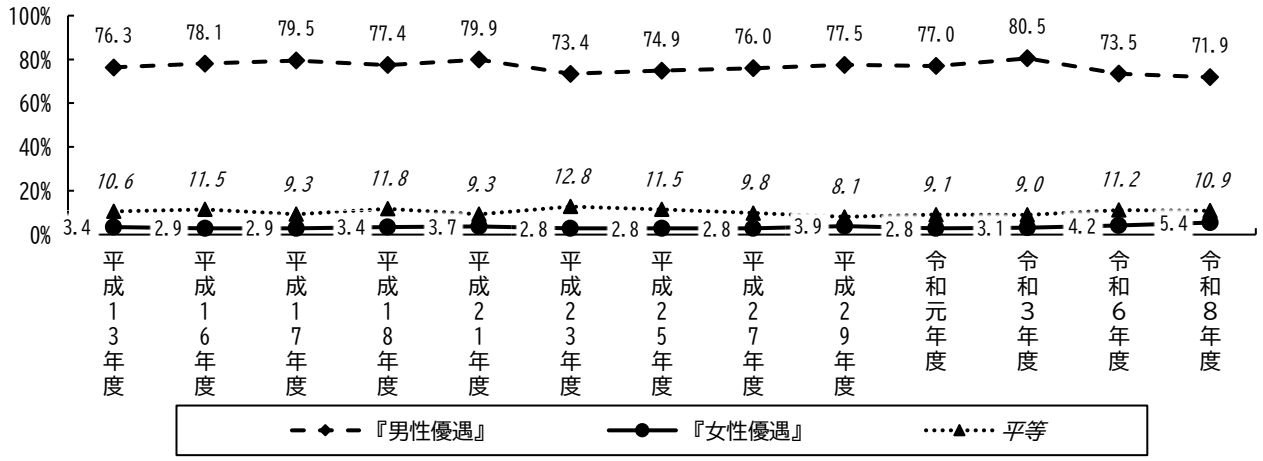
各選択肢を

・男性が非常に優遇　２点
・どちらかといえば男性が優遇　１点
・平等　０点
・どちらかといえば女性が優遇　－１点
・女性が非常に優遇　－２点

とし、平均点を算出しました。

※「子育て世代」とは「20～50代」で「子どもがいる」と回答した対象者を指します。
「子育て世代で専業主婦・主夫、学生、無職」の男性は回答者１名のみですが、参考として掲載しています。

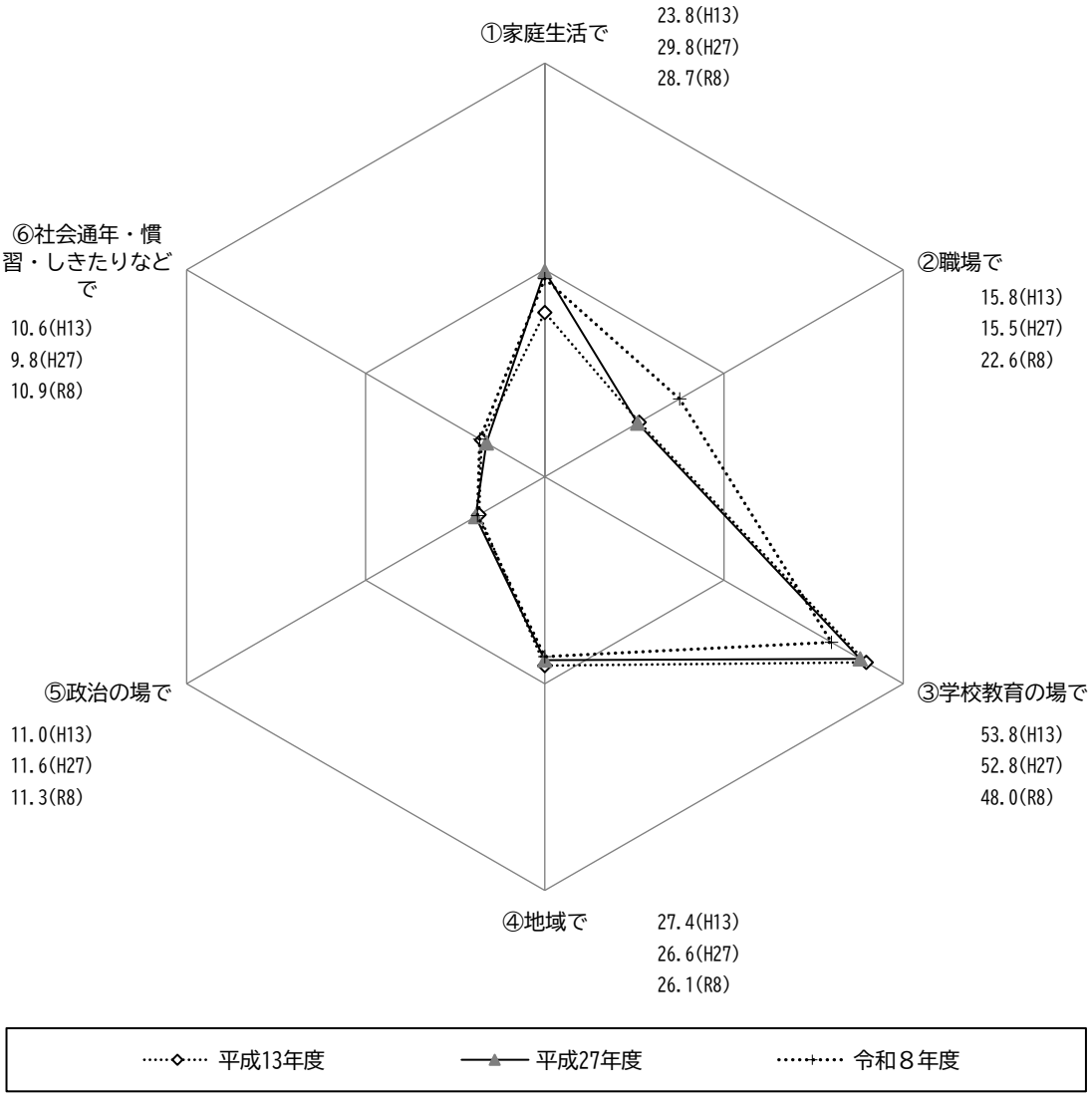
【⑥社会通念・慣習・しきたりなどで　経年比較】



※無回答などを省略していますので、合計しても100%にならないことがあります。
※『男性優遇』（「男性が非常に優遇」＋「どちらかといえば男性が優遇」）、『女性優遇』（「女性が非常に優遇」＋「どちらかといえば女性が優遇」）

	調査数	男性が非常に優遇	どちらかといえば男性が優遇	平等	どちらかといえば女性が優遇	女性が非常に優遇	わからない	無回答
平成13年度	1,133	23.9%	52.4%	10.6%	2.5%	0.9%	6.6%	3.1%
平成16年度	800	23.0%	55.1%	11.5%	2.5%	0.4%	5.1%	2.4%
平成17年度	836	25.2%	54.3%	9.3%	2.4%	0.5%	5.5%	2.8%
平成18年度	570	22.1%	55.3%	11.8%	3.2%	0.2%	4.6%	3.0%
平成21年度	653	20.8%	59.1%	9.3%	3.5%	0.2%	5.5%	1.5%
平成23年度	577	23.1%	50.3%	12.8%	2.3%	0.5%	8.3%	2.8%
平成25年度	793	19.7%	55.2%	11.5%	2.4%	0.4%	6.9%	3.9%
平成27年度	899	21.9%	54.1%	9.8%	2.2%	0.6%	8.7%	2.8%
平成29年度	782	22.3%	55.2%	8.1%	2.9%	1.0%	9.5%	1.0%
令和元年度	744	22.4%	54.6%	9.1%	2.4%	0.4%	9.1%	1.9%
令和３年度	826	25.2%	55.3%	9.0%	2.7%	0.4%	6.8%	0.7%
令和６年度	732	25.3%	48.2%	11.2%	3.3%	1.0%	10.2%	0.8%
令和８年度	700	23.6%	48.3%	10.9%	3.1%	2.3%	10.0%	1.9%

【各分野の平等について】



※図中の数値は構成比（%）と調査実施年度

4. 男女の役割を固定的に考えることに関する意識

問４　「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」というような男女の役割を固定的に考えることについて、どのように思いますか。（１つに○）

男女の役割を固定的に考えることは『反対』が71.7%。

男女の役割を固定的に考えることについてたずねたところ、『反対』（「反対」＋「どちらかといえば反対」）は71.7%、『賛成』（「賛成」＋「どちらかといえば賛成」）は17.6%となっています。

性別でみると、『反対』は男性が65.1%、女性が77.4%となっており、男女間で差がみられます。

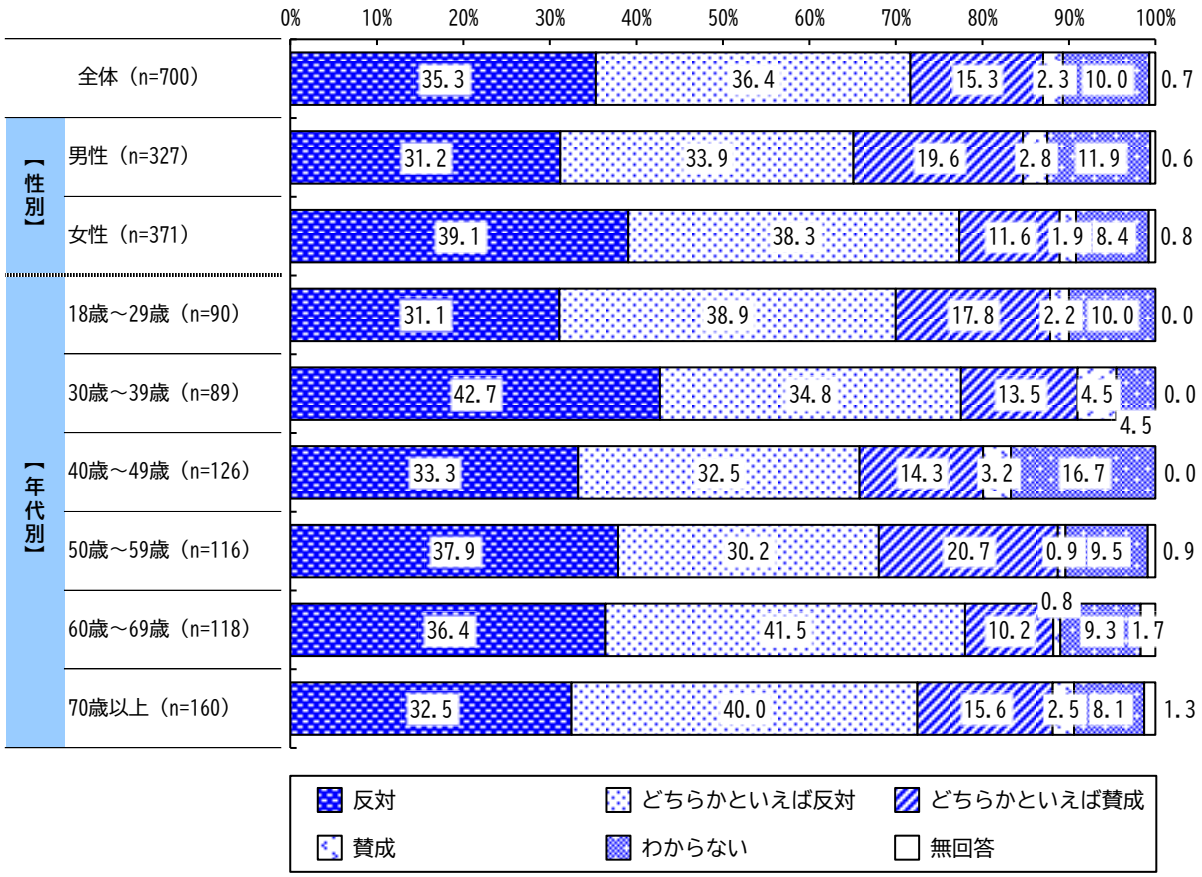
年代別でみると、『反対』は60歳～69歳で77.9%、30歳～39歳で77.5%となっています。

性・年代別でみると、『反対』の割合は女性の30歳～39歳、60歳～69歳で８割以上と高くなっている一方で、男性の40歳～49歳では５割強と低くなっています。

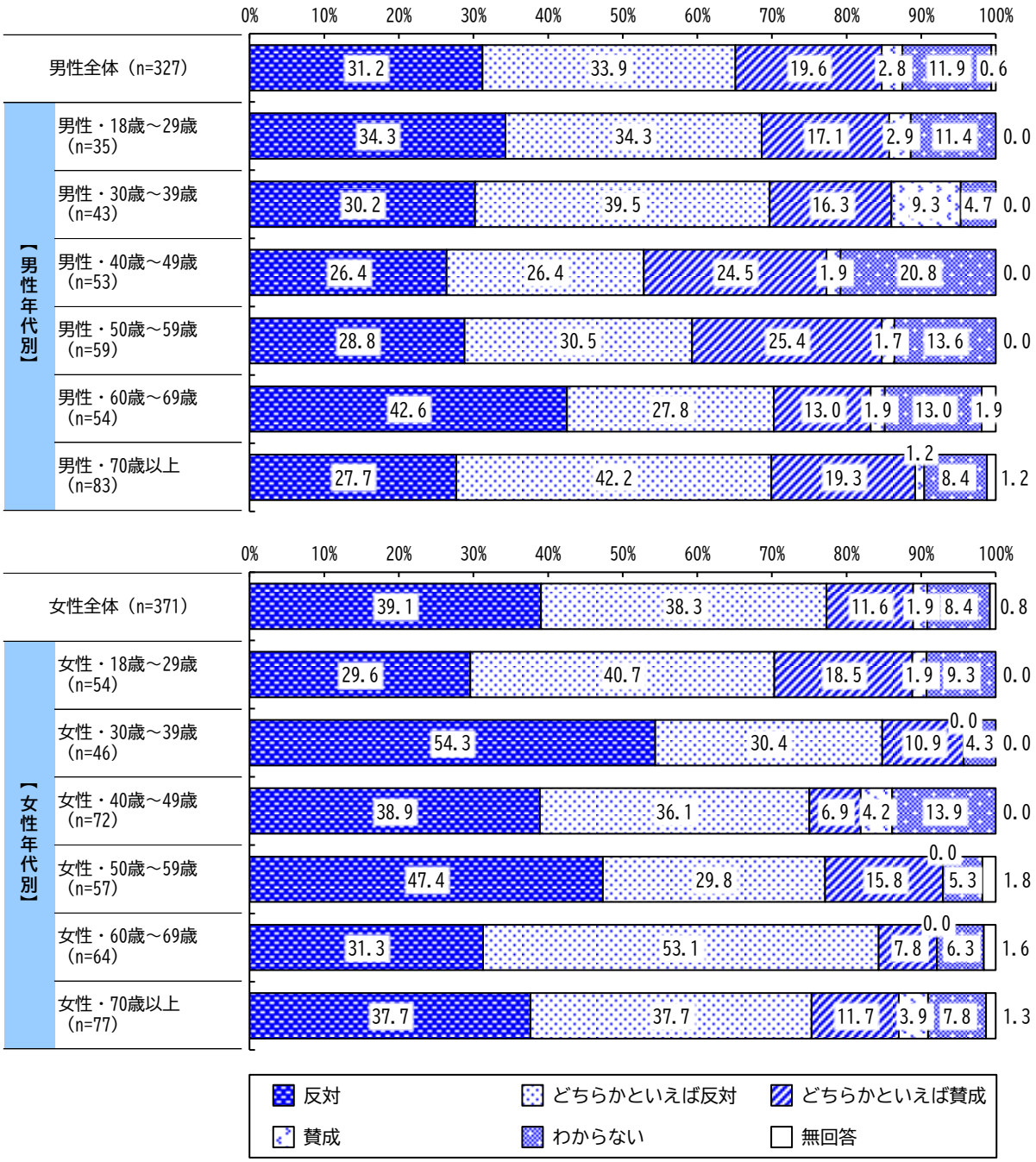
属性別得点をみると、性・年代別で男性と女性の差は、30歳～39歳で0.66ポイント、40歳～49歳で0.51ポイントと差がみられました。

経年比較でみると、前回調査から大きな変化はありません。

【全体・性別・年代別】

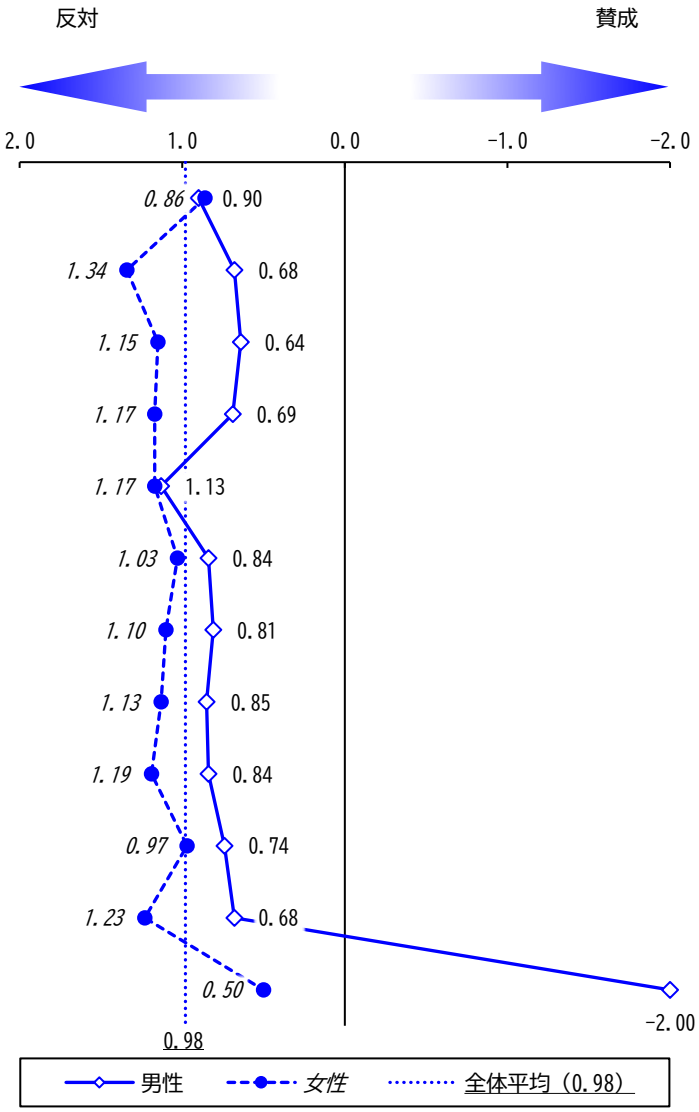


【性・年代別】


0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
男性全体（n=327）
31.2
33.9
19.6
2.8
11.9
0.6
【男性年代別】
男性・18歳～29歳（n=35）
34.3
34.3
17.1
2.9
11.4
0.0
男性・30歳～39歳（n=43）
30.2
39.5
16.3
9.3
4.7
0.0
男性・40歳～49歳（n=53）
26.4
26.4
24.5
1.9
20.8
0.0
男性・50歳～59歳（n=59）
28.8
30.5
25.4
1.7
13.6
0.0
男性・60歳～69歳（n=54）
42.6
27.8
13.0
1.9
13.0
1.9
男性・70歳以上（n=83）
27.7
42.2
19.3
1.2
8.4
1.2
女性全体（n=371）
39.1
38.3
11.6
1.9
8.4
0.8
【女性年代別】
女性・18歳～29歳（n=54）
29.6
40.7
18.5
1.9
9.3
0.0
女性・30歳～39歳（n=46）
54.3
30.4
0.0
10.9
4.3
0.0
女性・40歳～49歳（n=72）
38.9
36.1
6.9
4.2
13.9
0.0
女性・50歳～59歳（n=57）
47.4
29.8
0.0
15.8
5.3
1.8
女性・60歳～69歳（n=64）
31.3
53.1
0.0
7.8
6.3
1.6
女性・70歳以上（n=77）
37.7
37.7
11.7
3.9
7.8
1.3
反対
どちらかといえば反対
どちらかといえば賛成
賛成
わからない
無回答

【属性別得点】

		（ｎ） 男性	女性
		327	371
【年代別】	18歳～29歳	35	54
	30歳～39歳	43	46
	40歳～49歳	53	72
	50歳～59歳	59	57
	60歳～69歳	54	64
	70歳以上	83	77
【子ども】	子どもがいる	210	245
	子どもはいない	113	126
【職業】	社員・職員（正規・非正規）、自営業、役員	250	243
	専業主婦・主夫、学生、無職	77	127
【子育て】	子育て世代で社員・職員（正規・非正規）、自営業、役員	90	102
	子育て世代で専業主婦・主夫、学生、無職	1	18



【得点算出方法】

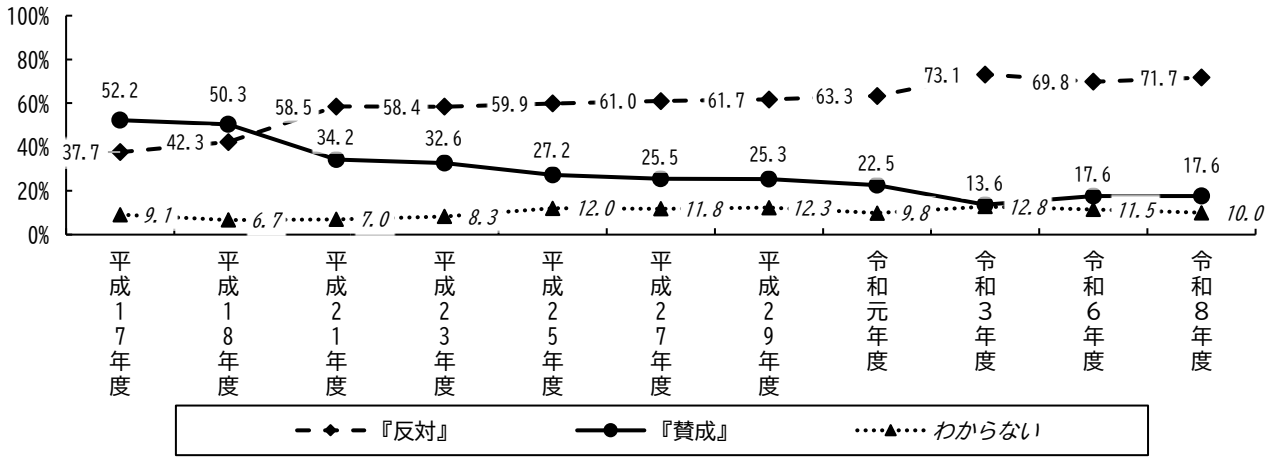
各選択肢を

・反対　２点
・どちらかといえば反対　１点
・どちらかといえば賛成　－１点
・賛成　－２点

とし、平均点を算出しました。

※「子育て世代」とは「20～50代」で「子どもがいる」と回答した対象者を指します。
「子育て世代で専業主婦・主夫、学生、無職」の男性は回答者１名のみですが、参考として掲載しています。

【経年比較】



※無回答などを省略していますので、合計しても100%にならないことがあります。
※『反対』（「反対」＋「どちらかといえば反対」）、『賛成』（「賛成」＋「どちらかといえば賛成」）

	調査数	反対	どちらかといえば反対	どちらかといえば賛成	賛成	わからない	無回答
平成17年度	836	13.5%	24.2%	43.2%	9.0%	9.1%	1.1%
平成18年度	570	18.1%	24.2%	41.4%	8.9%	6.7%	0.7%
平成21年度	653	21.3%	37.2%	27.3%	6.9%	7.0%	0.3%
平成23年度	577	21.7%	36.7%	27.2%	5.4%	8.3%	0.7%
平成25年度	793	22.1%	37.8%	23.0%	4.2%	12.0%	1.0%
平成27年度	899	23.1%	37.9%	21.5%	4.0%	11.8%	1.7%
平成29年度	782	24.0%	37.7%	22.1%	3.2%	12.3%	0.6%
令和元年度	744	27.3%	36.0%	20.2%	2.3%	9.8%	4.4%
令和３年度	826	31.1%	42.0%	12.6%	1.0%	12.8%	0.5%
令和６年度	732	33.2%	36.6%	15.8%	1.8%	11.5%	1.1%
令和８年度	700	35.3%	36.4%	15.3%	2.3%	10.0%	0.7%

5. 男女の役割を固定的に考えることに反対の理由

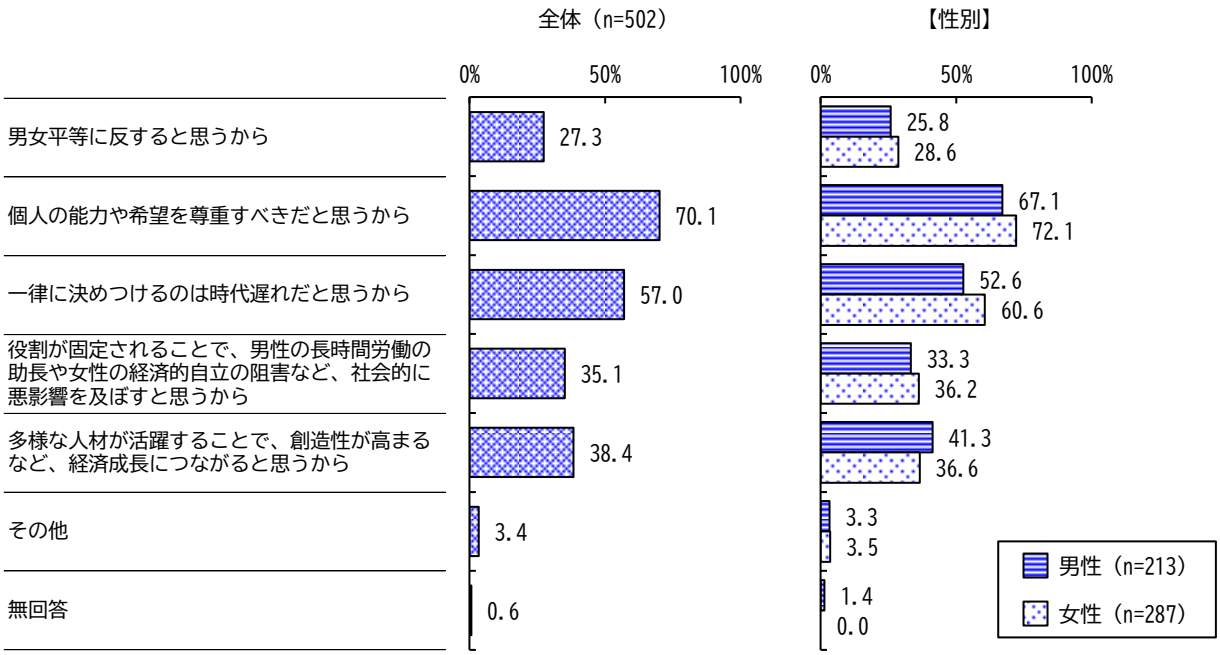
問４－２　問４で「１」又は「２」と答えた方に伺います。
反対と考えるのはなぜですか。（あてはまるもの全てに○）

反対の理由は「個人の能力や希望を尊重すべきだと思うから」が70.1%。

男女の役割を固定的に考えることに反対の理由をたずねたところ、「個人の能力や希望を尊重すべきだと思うから」が70.1%と最も高く、次に「一律に決めつけるのは時代遅れだと思うから」が57.0%、「多様な人材が活躍することで、創造性が高まるなど、経済成長につながると思うから」が38.4%、「役割が固定されることで、男性の長時間労働の助長や女性の経済的自立の阻害など、社会的に悪影響を及ぼすと思うから」が35.1%となっています。

性別でみると、「個人の能力や希望を尊重すべきだと思うから」が男性は67.1%、女性は72.1%となっています。

【全体・性別】



６. 男女の役割を固定的に考えることに賛成の理由

問４ - ３　問４で「３」又は「４」と答えた方に伺います。
賛成と考えるのはなぜですか。（あてはまるもの全てに○）

賛成の理由は「性別により適性が異なると思うから」が52.0%。

男女の役割を固定的に考えることに賛成の理由をたずねたところ、「性別により適性が異なると思うから」が52.0%と最も高く、次に「性別により役割を分担した方が、家族の安定や子どもの成長によい影響を与えると思うから」が39.0%、「実情として、社会には性別役割分担に基づいた制度、慣習があるため、女性の就業や男性の家事・育児への参加は負担が大きいと思うから」が36.6%、「性別により役割を分担した方が、効率的で、経済成長につながると思うから」が25.2%となっています。

性別でみると、「性別により適性が異なると思うから」が男性は45.2%、女性は62.0%となっており、男女間で差がみられます。

【全体・性別】

